



Wi-Fiルーター

WSR-1166DHPL2シリーズ

ユーザーマニュアル

<https://www.buffalo.jp/>

目次

第1章	はじめに	5
	操作方法について	5
	電波に関する注意	5
	無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関する注意	6
	動作環境	7
	本製品の特長	8
第2章	本製品への無線接続	9
	暗号化キーを使って接続する方法(手動設定)	9
	QRコードを使って接続する方法(QRsetup)	10
	AOSSで接続する方法	11
	WPSで接続する方法	13
第3章	本製品の各種設定	14
	本製品の設定を変更するには	14
	スマートフォン・タブレットをお使いの場合	14
	Windowsをお使いの場合	15
	Macをお使いの場合	19
	管理パスワードを変更する	22
	本製品のファームウェアバージョンを確認する	23
	本製品のファームウェアを更新する	23
	自動的に更新する場合	23
	手動で更新する場合	24

無線チャンネルを変更する	25
AOSS接続を解除する	27
ほかの機器から本製品を検索できなくする (ANY接続拒否設定)	28
アクセスできる機器を制限する (MACアクセス制限)	29
機器同士の無線通信を禁止する (プライバシーセパレーター)	32
ポートを開放する	33
ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ 利用するポート番号が分かっている場合	33
利用するポート番号が不明な場合	35
本製品のIPアドレスを変更する	36
Windowsをお使いの場合	36
Macをお使いの場合	42
フレッツ回線向けの設定をする (PPPoEマルチセッション) ...	46
ルーター機能を停止する	49
本製品の設定を保存する・復元する	50
設定の保存	50
設定の復元	51

第4章 設定画面の詳細情報 52

かんたん設定と詳細設定について	52
かんたん設定画面	53
トップ画面	53
無線LAN (ルーターモード時/アクセスポイントモード時のみ)	55
AOSS/WPS	56
詳細設定画面	57
注意ボタンについて	57

Internet.....	57
PPPoE.....	59
アドレス変換.....	61
IPv6.....	62
LAN.....	64
DHCPリース.....	65
経路情報.....	66
2.4GHz(11n/g/b).....	67
5GHz(11ac/n/a).....	70
WPS.....	73
AOSS.....	74
MACアクセス制限.....	75
マルチキャスト制御.....	76
無線引っ越し機能.....	77
ファイアウォール.....	78
IPフィルター.....	80
IPv6フィルター.....	81
パススルー.....	82
ポート変換.....	83
DMZ.....	84
UPnP.....	84
システム設定.....	85
ログ.....	86
設定管理/再起動.....	87
ファームウェア更新.....	88
システム.....	90
ログ.....	91
通信パケット.....	92
診断.....	92

第5章 困ったときは..... 93

IPv4 over IPv6通信サービスを契約しても、インターネット接続方式が切り替わらない.....	93
インターネットにつながらない.....	95
無線接続が切れる/不安定.....	95
無線でつながらない.....	96
設定画面が表示できない.....	96
無線での通信が遅い.....	97
設定を出荷時の状態に戻したい.....	97

第6章 付録..... 98

製品仕様.....	98
各部の仕様.....	99
初期設定一覧.....	101
本書について.....	105
免責事項.....	105
商標・登録商標.....	105

第1章 はじめに

操作方法について

本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 電波法により、W52、W53は屋外利用禁止です(法令により許可された場合を除く)。
- 本製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- 本製品の使用する無線チャンネル(2.4GHz帯の1~13チャンネル)は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局(免許を要する無線局)
 - (2) 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- 本製品を使用する際は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

- ・「新4K8K 衛星放送」と本製品は、相互に電波干渉を引き起こすことがあります。シールド性能の高い衛星放送用受信設備を使用してください。詳しくは、総務省のホームページ「4K 放送・8K 放送 情報サイト」(https://www.soumu.go.jp/menu/seisaku/ictseisaku/housou_suishin/4k8k_suishin/radio-frequency-interference.html)を参照してください。



無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関する注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- ・ 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティーに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)
「無線LANのセキュリティーに関する注意事項」より

本製品は、工場出荷時に無線LAN通信を暗号化するための暗号化キーを設定済みのため、通常はこのままご利用いただけます。本製品の設定画面より下記の設定を有効にすると、より強固なセキュリティーを設定できます。本製品の用途にあわせてご利用ください。

- ・ [「ほかの機器から本製品を検索できなくする\(ANY接続拒否設定\)」\(P.28\)](#)
- ・ [「アクセスできる機器を制限する\(MACアクセス制限\)」\(P.29\)](#)
- ・ [「機器同士の無線通信を禁止する\(プライバシーセパレーター\)」\(P.32\)](#)

動作環境

Wi-Fiルーター本体とWi-Fi接続するときの対応機器

Wi-Fi機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット、ゲーム機など

Wi-Fiルーターを設定変更するときの対応機器・対応OS・対応ブラウザ

<対応機器>

パソコン、Mac、スマートフォン^{※1}、タブレット^{※1}

<対応OS>

Windows 11/10^{※2}/8.1^{※2}/7^{※2}

Mac OS X 10.5以降

iOS 5以降

iPadOS 14以降

Android 2.2以降

<対応ブラウザ>

Microsoft Edge、Chrome、Firefox、Safari

※1 標準搭載のブラウザを使った初期設定(インターネット接続設定)のみ対応しています。

※2 64ビットと32ビットに対応しています。

本製品の設定・利用時に使用するソフトウェア

以下ダウンロードページの記載を確認してください。

<https://www.buffalo.jp/product/detail/software/wsr-1166dhpl2.html>

本製品の特長

日本の主要なIPv6サービスに対応

アクセス集中による影響が少ないIPv6高速インターネットをご利用いただけます。

動作確認済みサービスは、当社ホームページ(<https://www.buffalo.jp/support/other/network-ipv6.html>)を参照してください。

ビームフォーミングに対応

ビームフォーミングは、機器にめがけて集中的に電波を送信する機能です。

メモ:

- 常に有効に設定されています。無効にできません。
- ビームフォーミングに対応した機器に対して使用できます。

MU-MIMOに対応

MU-MIMOは、空間多重によってMU-MIMOに対応した複数の機器と同時に通信できる機能です。

本製品では、最大2台の機器が同時通信できます。

メモ: 工場出荷時は有効に設定されています。通常はそのままご使用ください。

通信速度が安定しなかったり、通信速度が低下する場合は、無効にしてください。無効にする場合は、[\[5GHz \(11ac/n/a\)\]\(P.70\)](#)のMU-MIMOで、「使用する」のチェックマークを外してください。

第2章 本製品への無線接続

暗号化キーを使って接続する方法(手動設定)

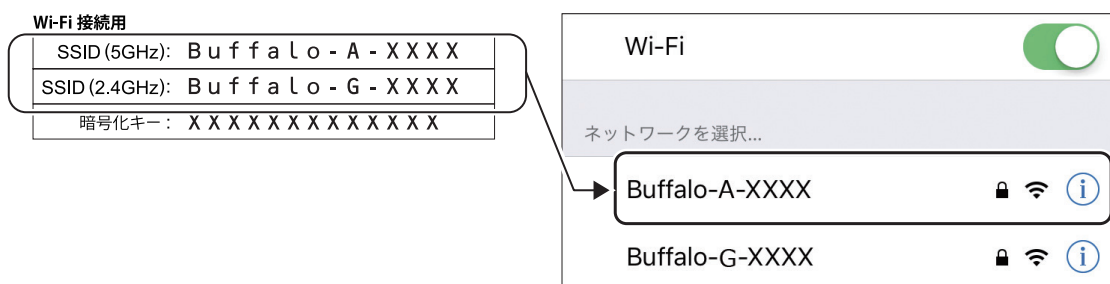
本製品に設定されている暗号化キー(機器によっては、「パスワード」や「ネットワークセキュリティキー」と表示されます)を使って接続する方法です。
設定は以下のながれで行います。

1 本製品に設定されているSSIDや暗号化キーを確認します。

本製品ご購入時のSSIDや暗号化キーは、セットアップカードで確認できます。

2 お使いの機器から本製品を検索します。

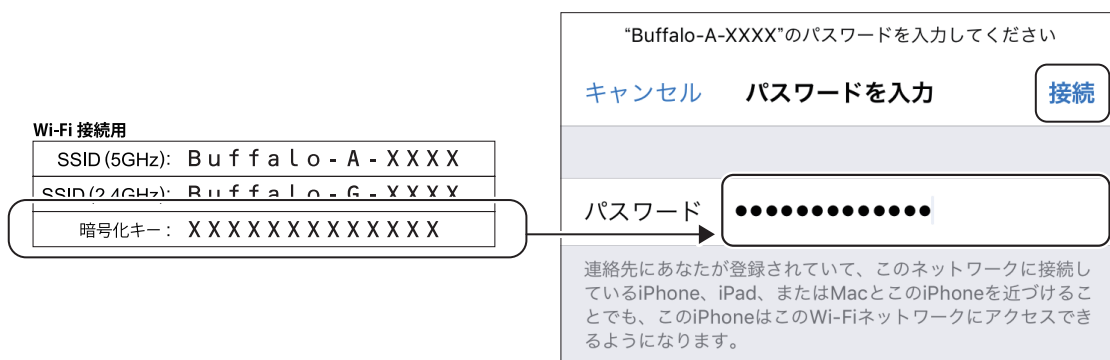
お使いの機器でWi-Fiの設定画面を表示し、手順1で確認した本製品のSSIDを選択してください。



メモ: 上の画面は一例です。お使いの機器によって異なります。

3 本製品の暗号化キーを入力します。




入力画面が表示されたら、手順1で確認した暗号化キーを入力してください。



メモ: 上の画面は一例です。お使いの機器によって異なります。

4 画面に従って設定を行います。

しばらくして、お使いの機器の画面にWi-Fiアイコンが表示されたら、接続は完了です。
Wi-Fiアイコンが表示されない場合は、手順1からやり直してください。

メモ: Wi-Fiアイコンは、お使いの機器によって異なります(例: 、、)。

QRコードを使って接続する方法(QRsetup)

QRsetup(専用アプリ)を使って接続する方法です。

QRsetupが利用できる機器は以下のとおりです。

- QRsetupをインストールしたiPod touch/iPhone/iPad
- QRsetupをインストールしたAndroid機器

メモ: QRsetupは、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードできます。

設定は以下のながれで行います。

1 お使いの機器でQRsetupを起動し、QRコードの読み取り画面を表示します。

カメラや位置情報へのアクセス許可を求める画面が表示された場合は、許可してください。

2 セットアップカードに記載されているQRコードを読み取ります。



3 以降は画面の指示に従って設定を進めます。

設定中にパスコードの入力画面が表示された場合は、お使いの機器に設定しているパスコードを入力してください。

AOSSで接続する方法

お使いの機器のAOSS機能(AirStation One-Touch Secure System)を使って接続する方法です。
AOSSが利用できる機器は以下のとおりです。

- 「AOSS」アプリをインストールしたAndroid機器(機器単体でAOSSに対応している場合も含む)
- 「クライアントマネージャV」をインストールしたWindowsパソコン
- AOSSに対応した機器(プリンター、ゲーム機など)

メモ:

- Android用「AOSS」アプリは、下記からダウンロードできます。
Android 9以前:Google Play
Android 10以降:当社ホームページ(https://www.buffalo.jp/support/download/detail/?dl_contents_id=2812)
Android 10以降のアプリのインストール手順は、「<https://www.buffalo.jp/support/faq/detail/124157018.html>」を参照してください。
- 「クライアントマネージャV」は、下記当社ホームページからダウンロードできます。
https://www.buffalo.jp/support/download/detail/?dl_contents_id=60661
- 「AOSSアシスタント」は、当社ホームページ(https://www.buffalo.jp/support/download/detail/?dl_contents_id=60007)からダウンロードできます。

設定は以下のながれで行います。

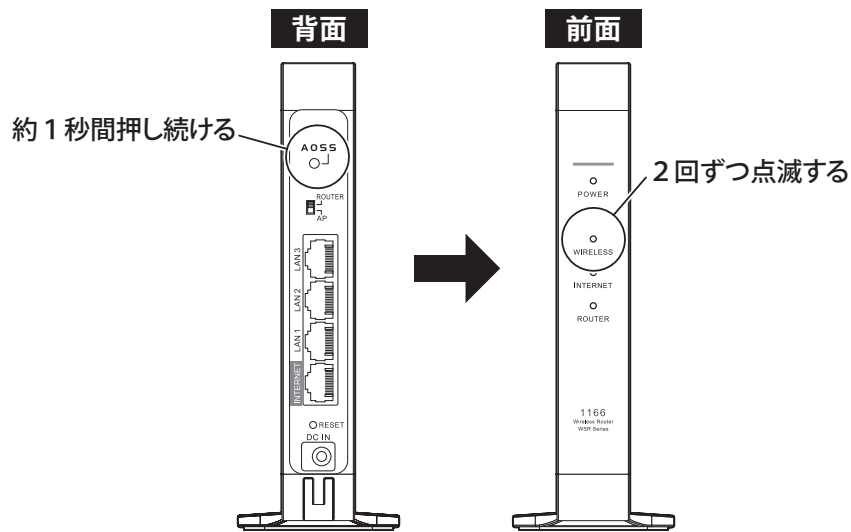
1 お使いの機器でAOSS接続を開始します。

AOSSボタンがある機器をお使いの場合は、AOSSボタンを押してください。

Android機器やWindowsパソコン、Macの場合は、アプリからAOSSを実行してください。



2 本製品のAOSSボタンを、WIRELESSランプが2回ずつ点滅するまで(約1秒間)押し続けます。



3 2分程度して、本製品のWIRELESSランプが点灯したら、接続は完了です。
高速点滅している場合は、手順1からやり直してください。

WPSで接続する方法

お使いの機器のWPS機能(Wi-Fi Protected Setup)を使って接続する方法です。
WPSが利用できる機器は以下のとおりです。

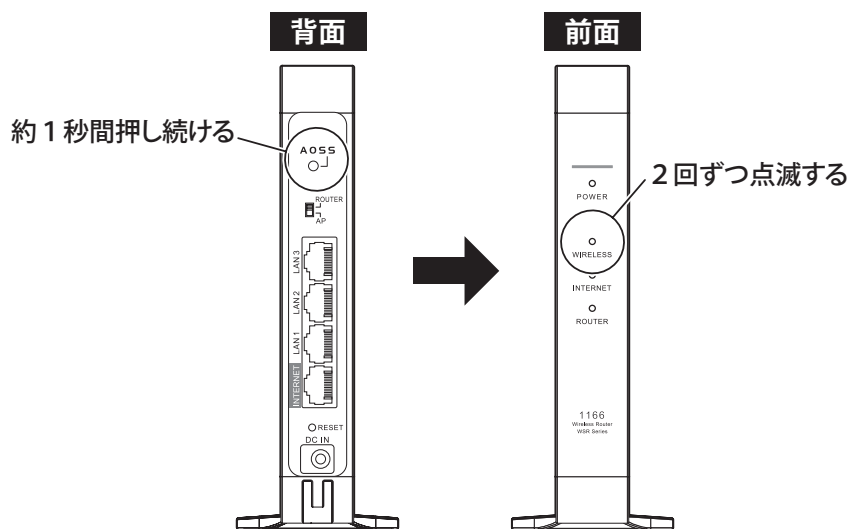
- WPSに対応したAndroid機器
- WPSに対応したWindowsパソコン
- WPSに対応した機器(プリンター、ゲーム機など)

設定は以下のながれで行います。

1 お使いの機器でWPS接続を開始します。

メモ: WPS接続の開始方法は、お使いの機器によって異なります。詳細はお使いの機器の取扱説明書を参照してください。

2 本製品のAOSSボタンを、WIRELESSランプが2回ずつ点滅するまで(約1秒間)押し続けます。



3 2分程度して、本製品のWIRELESSランプが点灯したら、接続は完了です。

高速点滅している場合は、手順1からやり直してください。

第3章 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

本製品の設定を変更するには

スマートフォン・タブレットをお使いの場合

AirStationアプリ^{*}を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品を設定します。

^{*}バージョン3.0からアプリ名称を「StationRadar」から「AirStationアプリ」に変更しています。

メモ:

- AirStationアプリは、App StoreまたはGoogle Playでダウンロードできます。
- スマートフォンやタブレットを本製品に接続した状態で使用してください。

1 AirStationアプリ を起動します。

メモ: はじめて起動したときは、「このアプリでできること」が表示されます。このようなときは、[次へ]をタップして画面を進めてください。

2 AirStationアプリを起動すると、自動的に検索が始まります。本製品が見つかったら、本製品の製品名をタップし、[設定画面を開く]をタップします。

3 ブラウザーが起動するので、セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をタップします。

本機ログイン用

ユーザー名: admin

パスワード: X X X X X X X X



ユーザー名
admin

パスワード
●●●●●●●●

モバイル用設定画面

ログイン

メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

4 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。

メモ: 本製品の各種設定方法は、本章に記載しています。

Windowsをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品を設定します。

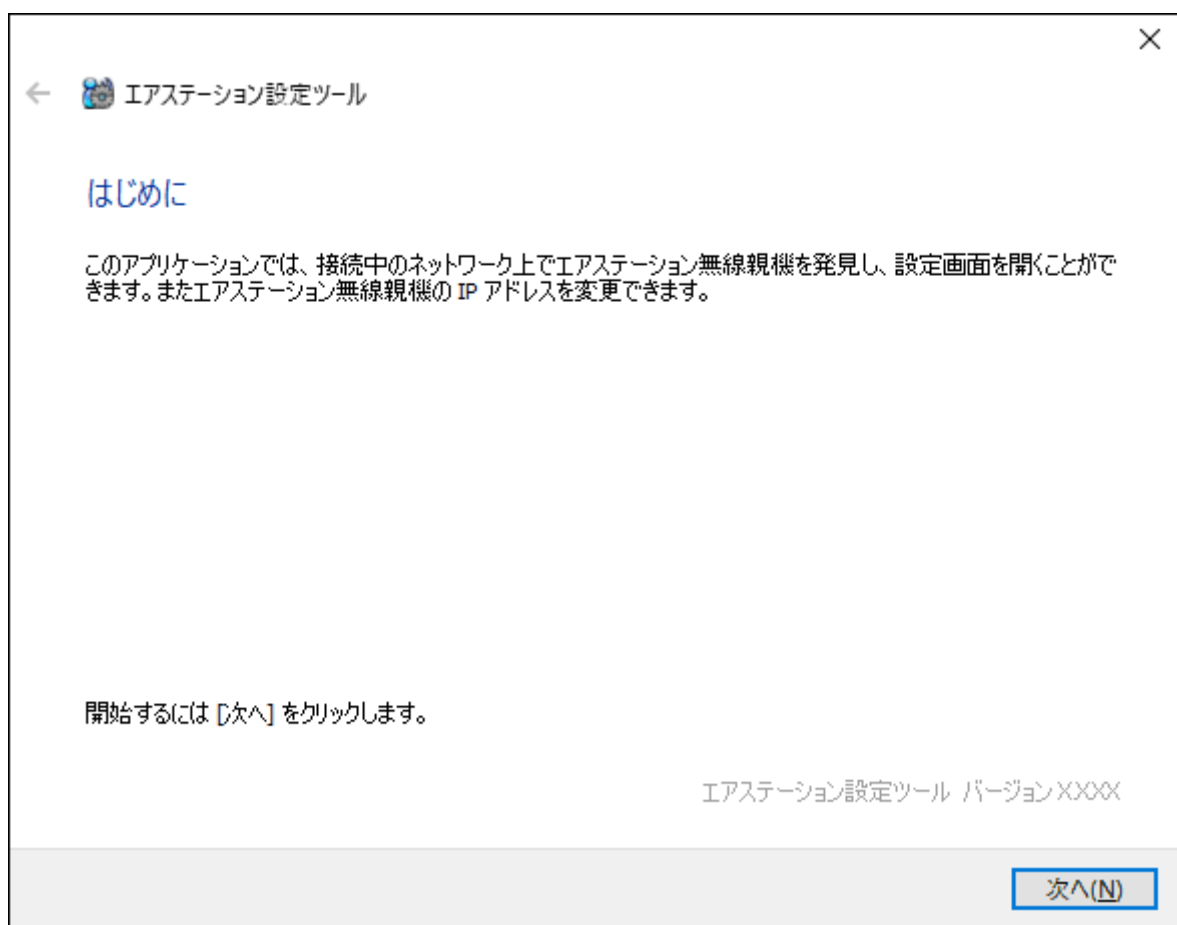
メモ:

- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(https://www.buffalo.jp/support/download/detail/?dl_contents_id=60749)でダウンロードできます。
- パソコンを本製品に接続した状態で使用してください。

1 エアステーション設定ツール を起動します。

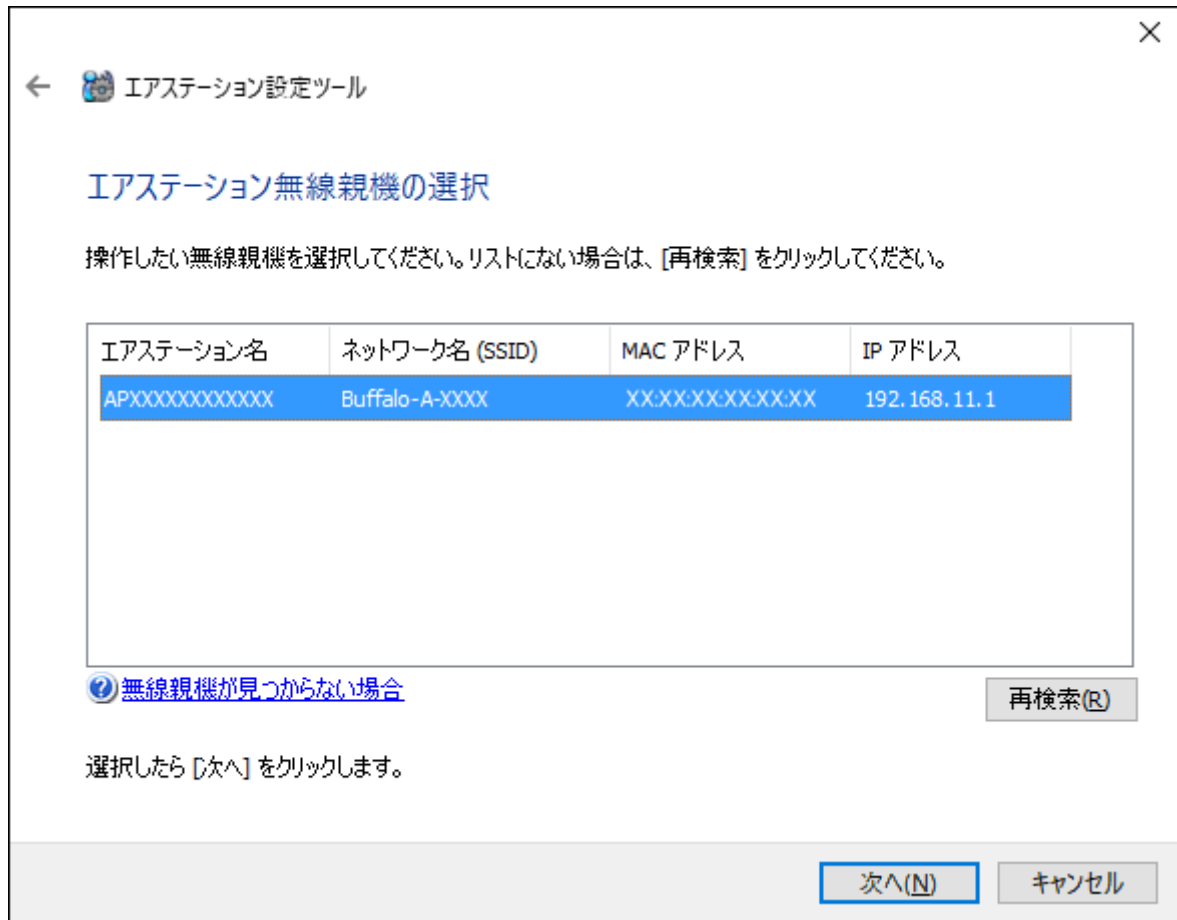
インストール時にデスクトップ上に作られた「エアステーション設定ツール」のショートカットをダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプターが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプターを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。

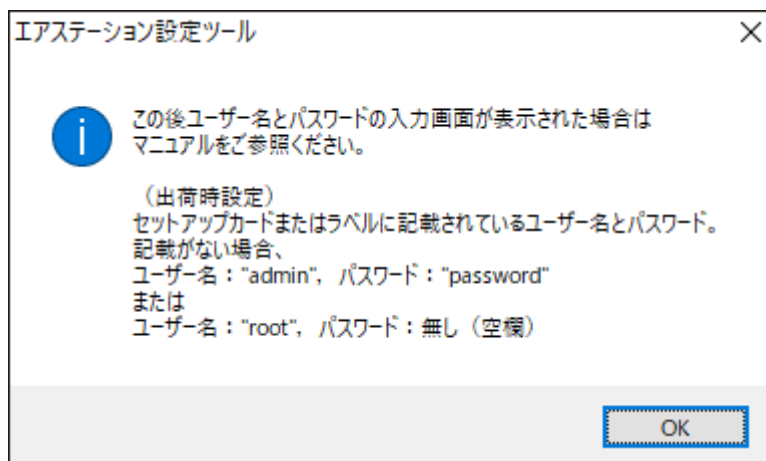


メモ: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。

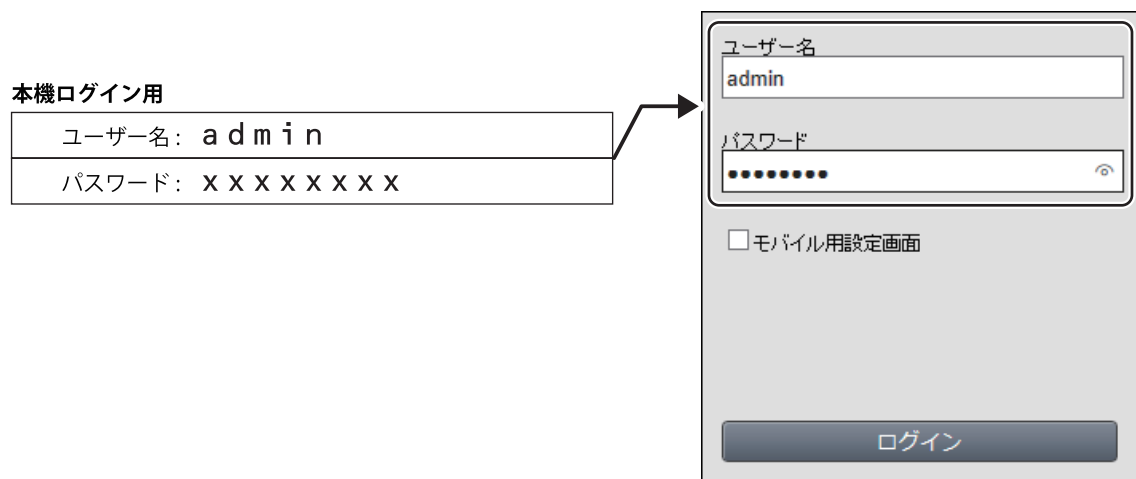


5 [OK]をクリックします。



本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その場合は、「このパソコンのIPアドレスを設定する」をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。しばらくすると、パソコンに新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

6 セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。



メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

7 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。

メモ:


- 本製品の各種設定方法は、本章に記載しています。
- 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。
[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

Macをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品を設定します。

メモ:

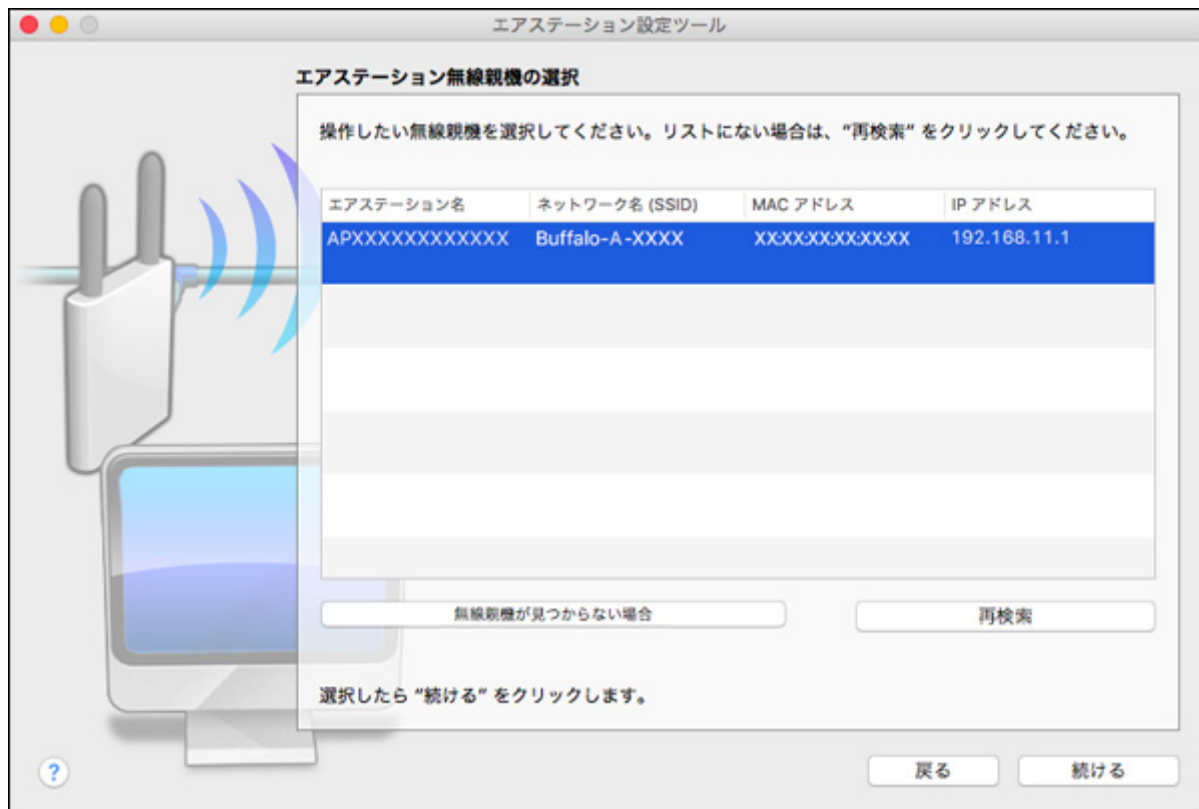
- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(https://www.buffalo.jp/support/download/detail/?dl_contents_id=60699)でダウンロードできます。
- Macを本製品に接続した状態で使用してください。

1 エアステーション設定ツール  を実行します。

2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。



メモ: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。



5 [OK]をクリックします。



本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その場合は、「このMacのIPアドレスを設定する」をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。Macのパスワードを要求された場合はパスワードを入力して[OK]をクリックします。しばらくするとMacに新しいIPアドレスが設定され、「設定完了」画面が表示されます。[親機選択画面に戻る]をクリックし、もう一度手順3から行ってください。

6 セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。

本機ログイン用

ユーザー名: admin
パスワード: XXXXXXXXX

メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

7 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。

メモ:

- 本製品の各種設定方法は、本章に記載しています。
- 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

管理パスワードを変更する

管理パスワード(設定画面のパスワード)は、出荷時設定では製品ごとに固有のパスワード(セットアップカードに記載されている「本機ログイン用パスワード」)が設定されています。

管理パスワードを変更したい場合は、以下の手順で設定してください。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、「[本製品の設定を変更するには](#)」(P.14)を参照してください。

2 「詳細設定」-「管理」-「システム設定」をクリックします。

3 「管理パスワード」に新しいパスワードを入力し、「設定」をクリックします。

管理パスワードは、半角英数字と「_」で、1~8文字で設定します。

変更した管理パスワードを忘れると設定画面を表示できなくなりますので、必ず控えをとってください。

システム情報	
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX
管理ユーザー名	admin (変更することはできません)
管理パスワード	●●●●●● <input type="checkbox"/> パスワードを表示する

アクセス	
使用する	管理アクセス
	パケット数

メモ:

- 生年月日や名前など、第三者から類推されやすい単語は管理パスワードに設定しないでください。
- 管理パスワードを忘れた場合は、本製品のRESETボタンを約3秒間押し、本製品の設定を初期化してください。その場合、パスワード以外の設定(インターネット設定や無線接続設定など)も初期化されます。

以上で設定は完了です。

本製品のファームウェアバージョンを確認する

本製品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認できます。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」をクリックします。

3 ファームウェアのバージョンを確認します。

製品名	WSR-1166DHPL2 Ver.X.XX(RX.XX/BX.XX)
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX

メモ: 製品名欄の「Ver.X.XX」の部分がファームウェアのバージョンです。

本製品のファームウェアを更新する

自動的に更新する場合

新しいファームウェアが公開された際に自動的に更新する場合は、以下の手順で設定を行ってください。

1 本製品の設定画面を表示します。


メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「管理」-「ファームウェア更新」をクリックします。

3 ファームウェア自動更新機能で「常に最新版に更新する」と更新時刻を設定し、「設定」をクリックします。

[拡張設定]	
ファームウェア自動更新機能	常に最新版に更新する <input type="button" value="▼"/>
現在時刻	2019年 12月 9日 (月曜日) 15:43 <input type="button" value="現在の状態を表示"/>
更新時刻	毎日 <input type="text" value="04:00 - 04:59"/> <input type="button" value="▼"/>
<input type="button" value="設定"/>	

メモ:

- 本製品の時刻設定が正しくない場合(画面に  が表示されている場合)は、「管理」-「システム設定」の画面でNTP機能を「使用する」に設定してください。
- ファームウェア更新中は、再起動などにより、本製品に接続している機器が一時的に切断されます。そのため、更新時刻は、本製品を使用していない時間帯に設定することをおすすめします。
- 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(前面のPOWERランプが橙色と緑色に交互に点滅中)は、本製品の電源をOFFにしないでください。

以上で設定は完了です。
設定後に新しいファームウェアがリリースされた場合、上記で設定した時間帯に更新が行われます。

手動で更新する場合

本製品をお使いの方が、お好みのタイミングでファームウェアを更新したい場合は、以下の手順で設定を行ってください。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「管理」-「ファームウェア更新」をクリックします。

3 ファームウェアを更新します。

ファームウェアファイルがある場合は、[参照]をクリックしてファームウェアファイルを選択し、[更新実行]をクリックします。

ファームウェアファイルがない場合は、「オンラインバージョンアップ」を選択し、[更新実行]をクリックして画面の指示に従ってください。

ファームウェアバージョン	WSR-1166DHPL2 Ver.X.XX(RX.XX/BX.XX)
更新方法	<input checked="" type="radio"/> ローカルファイル指定 <input type="radio"/> オンラインバージョンアップ
ファームウェアファイル名	C:\BUFFALO\wsr-1166dhpl2-xxx#wsr-1166dhpl2-x <input type="button" value="参照..."/>
<input type="button" value="更新実行"/>	

メモ: 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(前面のPOWERランプが橙色と緑色に交互に点滅中)は、本製品の電源をOFFにしないでください。

以上で設定は完了です。

無線チャンネルを変更する

本製品は、電波混雑防止機能によりほかの機器が使用していないチャンネルを検索して自動的に割り当てるため、通常はチャンネルを設定する必要はありません。ただし、周囲に多くの無線機器がある場合、チャンネルが正しく設定されず、電波干渉が発生して転送速度が低下してしまうことがあります。

その場合は、以下の手順でチャンネルを設定してください。

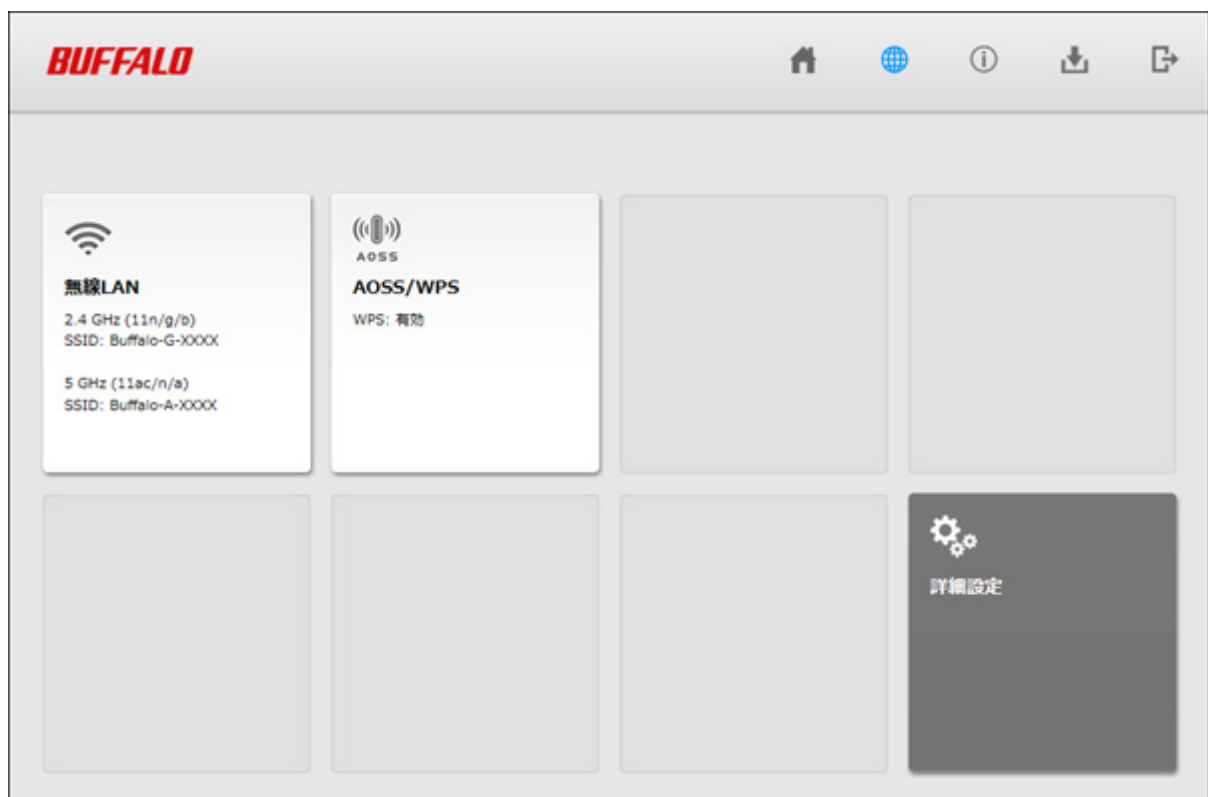
メモ:

- 設定するチャンネルによっては、ほかの無線機器と電波干渉を起こすことがあります。
- 隣接する無線機器に異なるチャンネルを設定するとき、隣りあったチャンネルなどの近い周波数では、互いに干渉し転送速度が低下してしまうことがあります。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「無線LAN」をクリックします。



3 無線チャンネルを選択して[設定]をクリックします。

メモ:

- 本設定は無線の周波数帯(2.4GHzまたは5GHz)ごとに設定できます。
- 5GHzのチャンネルで52チャンネル以上を設定した場合、本製品が気象レーダーなどを感知すると、自動的にほかの無線チャンネルへ変更されます。その際、1分程度無線通信ができなくなります。
- W52(36/40/44/48チャンネル)およびW53(52/56/60/64チャンネル)は、電波法により屋外で使用することが禁止されています。
- 2.4GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。
- 無線機器から設定を行っている場合、本製品との接続が一時的に切断されますが、しばらくすると自動的に本製品に再接続され通信できるようになります。

以上で設定は完了です。

AOSS接続を解除する

ANY接続拒否設定やMACアクセス制限の設定を行うには、いったんAOSS接続を以下の手順で解除する必要があります。

AOSS接続を解除すると、本製品のSSIDや暗号化キーは、AOSS接続を行う前の値に戻るとともに、本製品に接続していたすべての無線機器が本製品から切断されます。各機器の取扱説明書を参照して、もう一度無線機器を本製品に接続してください。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「AOSS」をクリックします。



3 AOSS接続解除ボタン をクリックします。

AOSS動作設定	
AOSS 状態	AOSS 有効 
WEPをゲーム専用にする	2.4GHz <input type="checkbox"/> 使用する 5GHz <input type="checkbox"/> 使用する
本体側AOSSボタン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

以上で設定は完了です。

ほかの機器から本製品を検索できなくする(ANY接続拒否設定)

本製品に無線接続するには、SSIDと暗号化キーが必要です。ANY接続拒否設定を行うと、本製品のSSIDが隠蔽されて、ほかの機器から本製品を検索することができなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくくすることができます。

設定は、以下の手順で行います。

メモ:

- AOSSとANY接続拒否設定は同時に使用できません。以下の設定を行う前に、[「AOSS接続を解除する」\(P.27\)](#)を参照してあらかじめ設定を変更してください(以下の設定を行った後にAOSSを使って無線接続すると、ANY接続が「許可する」に設定変更されます)。
- 以下の設定を行って本製品のSSIDを隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを受けることがあります。
- ANY接続を無効にした周波数帯では、WPS接続を実行することはできません。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「2.4GHz(11n/g/b)」または「詳細設定」-「無線設定」-「5GHz(11ac/n/a)」をクリックします。

メモ: 本設定は無線の周波数帯(2.4GHzまたは5GHz)ごとに設定できます。

3 ANY接続の「許可する」をクリックし、チェックを外して[設定]をクリックします。

【基本設定】	
無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
無線チャンネル	自動 (現在のチャンネル: 11)
倍速モード	帯域: 144.4 Mbps (20 MHz) (Current: 20 MHz) 拡張チャンネル: 4
ANY接続	<input type="checkbox"/> 許可する 

以上で設定は完了です。

アクセスできる機器を制限する(MACアクセス制限)

本製品に接続する機器のMACアドレスをあらかじめ登録しておき、その機器のみ本製品へのアクセスを許可できます。設定は以下の手順で行います。

メモ: AOSSとMACアクセス制限は同時に使用できません。MACアクセス制限を設定する場合は、[「AOSS接続を解除する」\(P.27\)](#)を参照して本製品の設定を変更してください。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「MACアクセス制限」をクリックします。

3 「登録リストの編集」をクリックします。

無線パソコンの接続 (2.4GHz)	<input type="checkbox"/> 制限する
無線パソコンの接続 (5GHz)	<input type="checkbox"/> 制限する
登録リスト	
MACアドレス	接続状態
MACアドレスが登録されていません	
<input type="button" value="登録リストの編集"/>	

4 無線で接続できる機器を指定します。「検出された無線パソコン一覧」には、現在接続されている機器のMACアドレスが表示されています。

ここで、接続可能にする機器のMACアドレスのみを[登録]をクリックして登録します。

編集を終了して前の画面へ戻る

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

登録リスト

MACアドレス	操作
MACアドレスが登録されていません	

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXX	登録

現在の状態を表示

「検出された無線パソコン一覧」に表示されていない機器を登録する場合は、「登録するMACアドレス」欄に接続する機器のMACアドレスを入力し、「新規追加」をクリックします。MACアドレスを入力するときは、2桁ずつコロン(:)で区切って入力します。登録できるMACアドレスは64個までです。

5 登録が終わったら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

編集を終了して前の画面へ戻る

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

登録リスト

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
XXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="登録"/>

現在の状態を表示

6 「制限する」をクリックしてチェックを入れ、[設定]をクリックします。

無線パソコンの接続 (2.4GHz)	<input checked="" type="checkbox"/> 制限する
無線パソコンの接続 (5GHz)	<input checked="" type="checkbox"/> 制限する

メモ: 本設定は無線の周波数帯(2.4GHzまたは5GHz)ごとに設定できます。

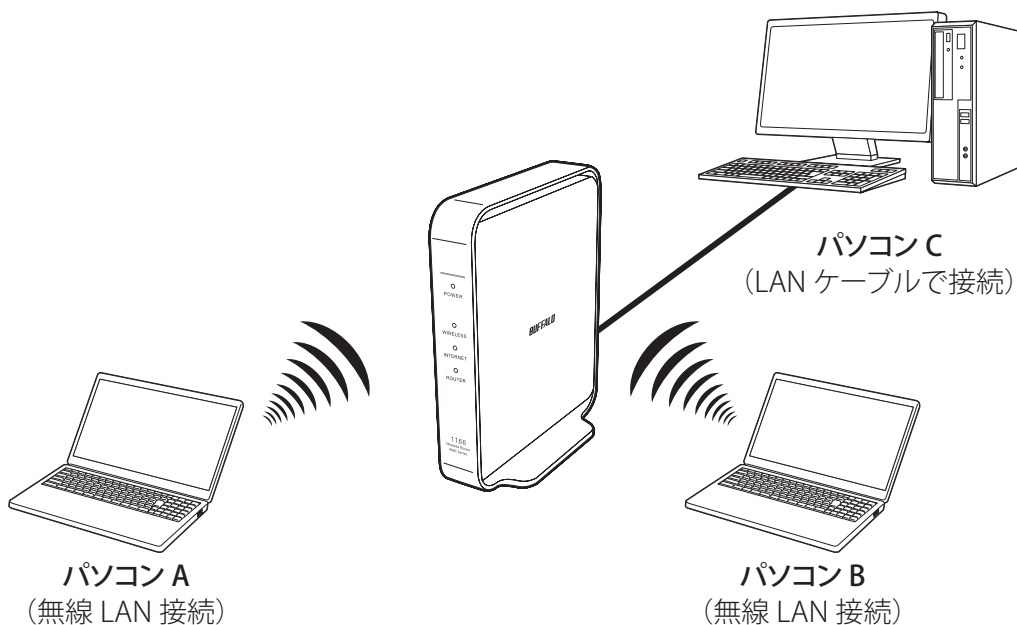
7 「無線パソコンのMACアクセス制限を有効にします」と表示されたら、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

機器同士の無線通信を禁止する(プライバシーセパレーター)

プライバシーセパレーター機能を使用すると、本製品に接続している機器同士のアクセス(共有フォルダーなどへのアクセス)を禁止できます。

メモ: 本製品にLANケーブルを使って接続している機器がある場合は、プライバシーセパレーターを有効にしても、アクセスを禁止することはできません。たとえば、以下の図のような接続の場合、プライバシーセパレーターを有効にすることで、パソコンA-B間で共有フォルダーへのアクセスはできなくなります。パソコンA-C間やパソコンB-C間はアクセスできます。



1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「2.4GHz(11n/g/b)」または「詳細設定」-「無線設定」-「5GHz(11ac/n/a)」をクリックします。

メモ: 本設定は無線の周波数帯(2.4GHzまたは5GHz)ごとに設定できます。

3 「プライバシーセパレーター」欄の「使用する」をクリックしてチェックを入れ、「設定」をクリックします。

[拡張設定]	
BSS BasicRateSet	1,2,5,11 Mbps
Multicast Rate	1 Mbps
802.11n プロテクション	<input type="checkbox"/> 使用する
DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
送信出力	100 %

以上で設定は完了です。

ポートを開放する

ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバーを公開できます。

メモ:

- サーバーを公開する場合、固定グローバルIPアドレスの取得およびプロバイダーと別途契約が必要な場合があります。
- 手順はお使いの環境によって異なります。
ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合は、以下を参照してください。
利用するポート番号が不明な場合は、[「利用するポート番号が不明な場合」\(P.35\)](#)を参照してください。

ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合

本製品がルーターとして動作している場合にのみ、以下の設定が行えます。

メモ:

- 「transix」、「クロスパス」、「v6 コネクト」をお使いの場合は、ポート変換できません。
- 「v6プラス」、「IPv6オプション」、「OCNバーチャルコネクト」をお使いの場合、回線仕様により、ポート変換設定をしても通信が転送されないことがあります。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「セキュリティ」-「ポート変換」をクリックします。

3 各項目を設定し、「新規追加」をクリックします。

ポート変換の新規追加		
グループ	新規追加 ▾ 新規追加 group1	
Internet側IPアドレス	エアステーションのInternet側IPアドレス ▾ 手動設定: <input type="text"/>	
プロトコル	<input type="radio"/> 全て	
	<input type="radio"/> ICMP	
	<input type="radio"/> 任意	プロトコル番号: <input type="text"/>
	<input checked="" type="radio"/> TCP/UDP	HTTP(TCPポート 80) ▾ 任意のTCP/UDPポート: <input type="text"/>
LAN側IPアドレス	<input type="text" value="192.168.11.210"/>	
LAN側ポート	TCP/UDPポート <input type="text"/>	
<input type="button" value="新規追加"/>		

グループ:

登録するルールが属するグループを指定します。「新規追加」を選択すると、新たなグループを作成し、そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。

Internet側IPアドレス:

公開する各種サーバーの固定グローバルIPアドレスを設定します。Internet側IPアドレスをPPPoEサーバーから取得している場合は各PPPoE接続先のInternet側IPアドレスを設定します。手動設定を選択したときは、手動設定欄にIPアドレスを指定する必要があります。プロバイダーから複数の固定グローバルIPアドレス指定を受けている場合には、「手動設定」で本製品のInternet側IPアドレスに設定してあるアドレス以外のグローバルIPアドレスを設定することが可能です。

プロトコル:

アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。[TCP/UDP]を選択したときは、ポートを設定します。

LAN側IPアドレス:

インターネットからのアクセスの宛先となるプライベートIPアドレスを設定します。

LAN側ポート:

変換プロトコルでTCP/UDPを指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN側のポート番号を変更できます。

以上の設定の組み合わせにより、最大32種類の組み合わせを設定できます。

メモ: WWW(HTTP)サーバーを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意のLAN側のWWWサーバーIPアドレスに転送できます。

グループ:

任意の名称(例:group1)を入力します。

Internet側IPアドレス:

[エアステーションのInternet側IPアドレス]を選択します。

プロトコル:

TCP/UDPを選択し、[HTTP(TCPポート:80)]を選択します(任意のTCP/UDPポートは空欄)。

LAN側IPアドレス/LAN側ポート:

LAN側IPアドレスは、サーバーIPアドレス(例:192.168.11.210)を入力します。LAN側ポートは、空欄にします。

4 設定内容が登録されていることを確認します。

ポート変換登録情報			
グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス	プロトコル LAN側ポート	操作
group1	エアステーションのInternet側IPアドレス 192.168.11.210	TCPポート:80 TCPポート:80	OFF <input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>

以上で設定は完了です。

利用するポート番号が不明な場合

本製品がルーターとして動作している場合にのみ、以下の設定が行えます。

メモ:

- ・「transix」、「クロスパス」、「v6 コネクト」をお使いの場合は、DMZを設定しても動作しません。
- ・「v6プラス」、「IPv6オプション」、「OCNバーチャルコネクト」をお使いの場合、回線仕様により、DMZを設定しても通信が転送されないことがあります。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「セキュリティ」-「DMZ」をクリックします。

3 DMZのアドレスを設定し、「設定」をクリックします。

DMZのアドレス	<input type="text" value="192.168.11.210"/>
* WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス 192.168.11.2.	

メモ:

- ・ DMZのアドレスは、インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送されるLAN上のIPアドレスです。ここで設定されたIPアドレスの機器でのみ、ネットワークゲームなどを利用できます。
- ・ ポート変換の設定で[LAN側IPアドレス]を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- ・ DMZを使用する場合は、機器側のIPアドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- ・ 使用するソフトや契約しているプロバイダーによっては、DMZを設定してもソフトウェアが動作しない場合があります。
- ・ DMZに設定した機器は、ほかのパソコンに比べてセキュリティが低下するため、重要なデータなどをその機器に保存しないことをおすすめします。
- ・ 安全のため、ファイアウォールの設定画面で、「NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する」を有効にしておくことをおすすめします。

以上で設定は完了です。

本製品のIPアドレスを変更する

エアステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更できます。ここでは、エアステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

Windowsをお使いの場合

メモ:

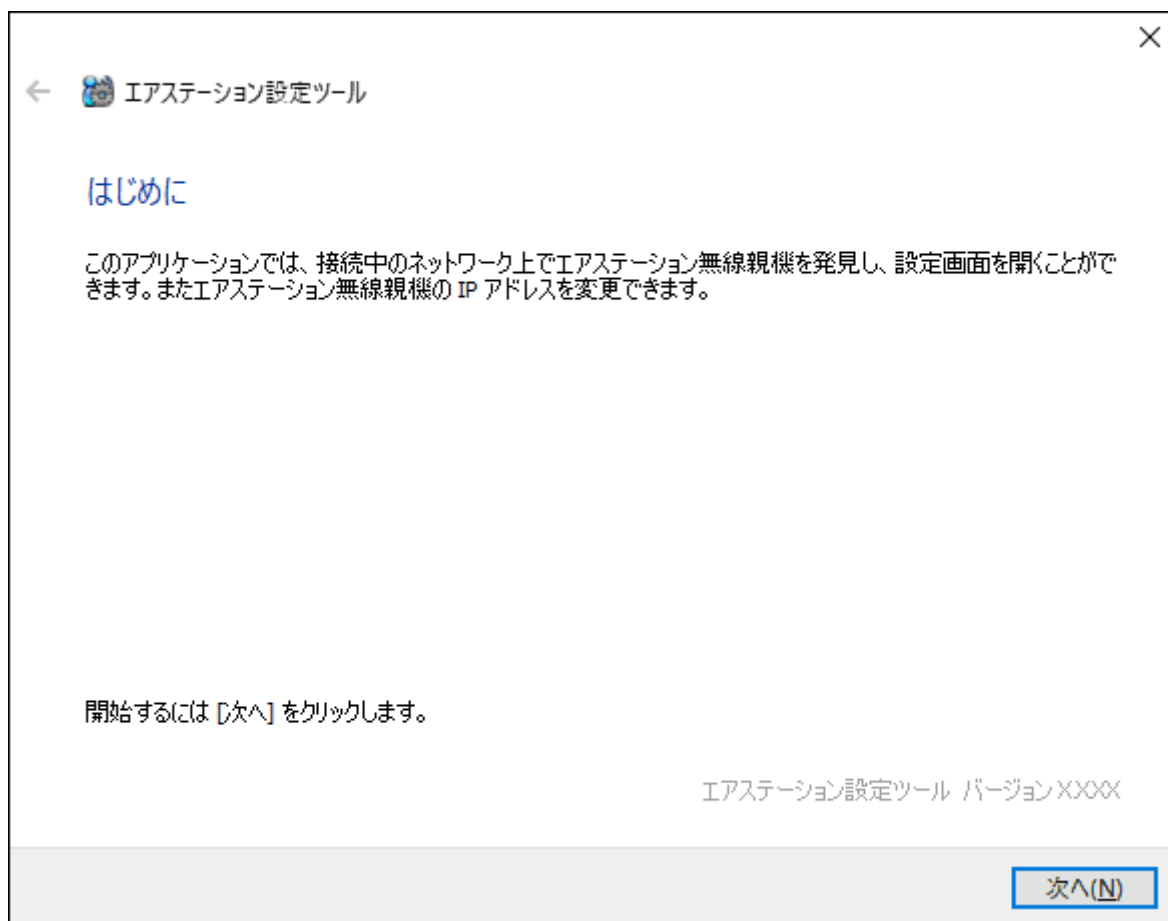
- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(https://www.buffalo.jp/support/download/detail/?dl_contents_id=60749)でダウンロードできます。
- パソコンを本製品に接続した状態で設定してください。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面の[詳細設定] - [LAN] - [LAN]からも変更できます。



1 エアステーション設定ツール を起動します。

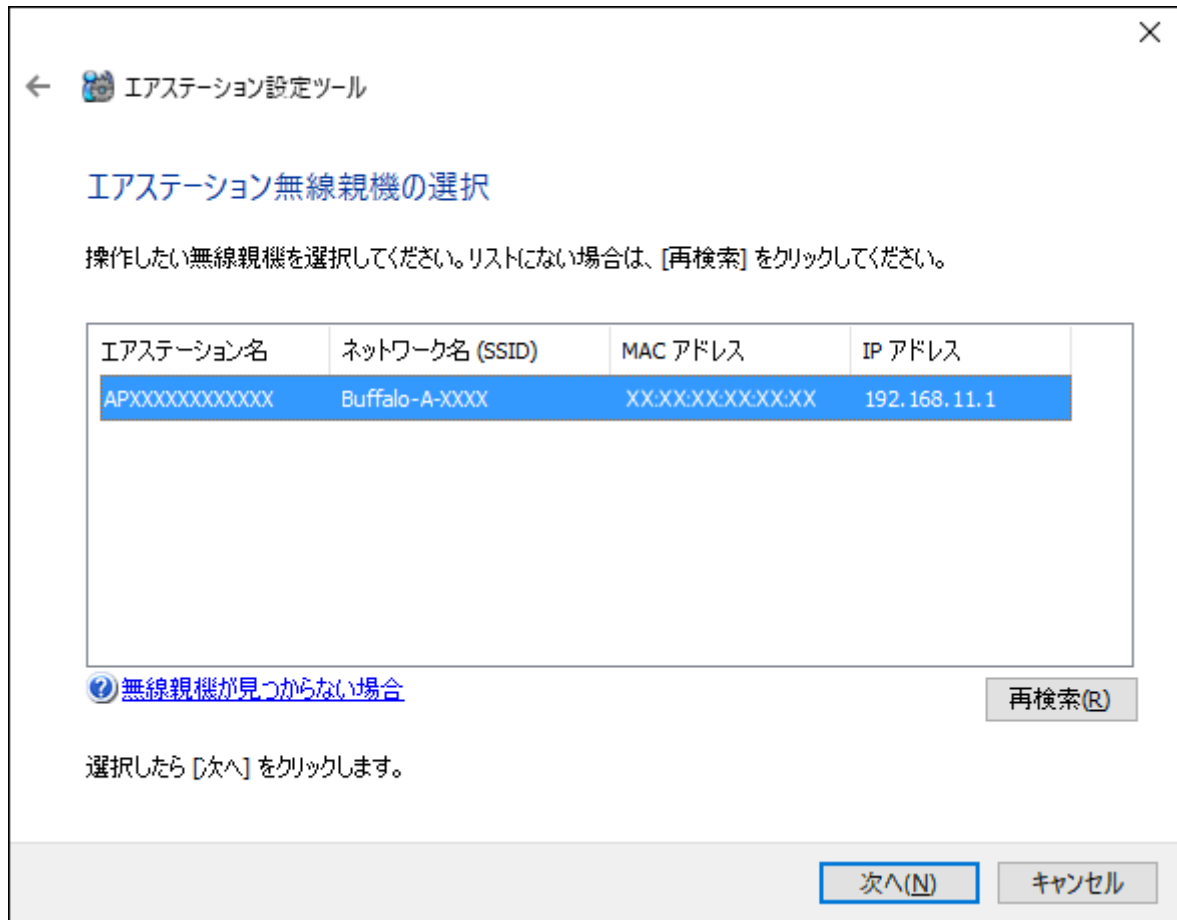
インストール時にデスクトップ上に作られた「エアステーション設定ツール」のショートカットをダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプターが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプターを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。



メモ: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。



5 新しく設定するIPアドレスを入力して[次へ]をクリックします。

← エアステーション設定ツール
×

無線親機の IP アドレス設定

無線親機の新しい IP アドレスを入力してください。

DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する(かんたん)(D)

- ※ 無線親機の ROUTER ランプが点灯している場合(ルーター機能有効時)は、この設定にはできません。

次の IP アドレスを使う(上級者・管理者向け)(S)

IP アドレス(I) [? 設定方法](#)

サブネットマスク(U) ▼

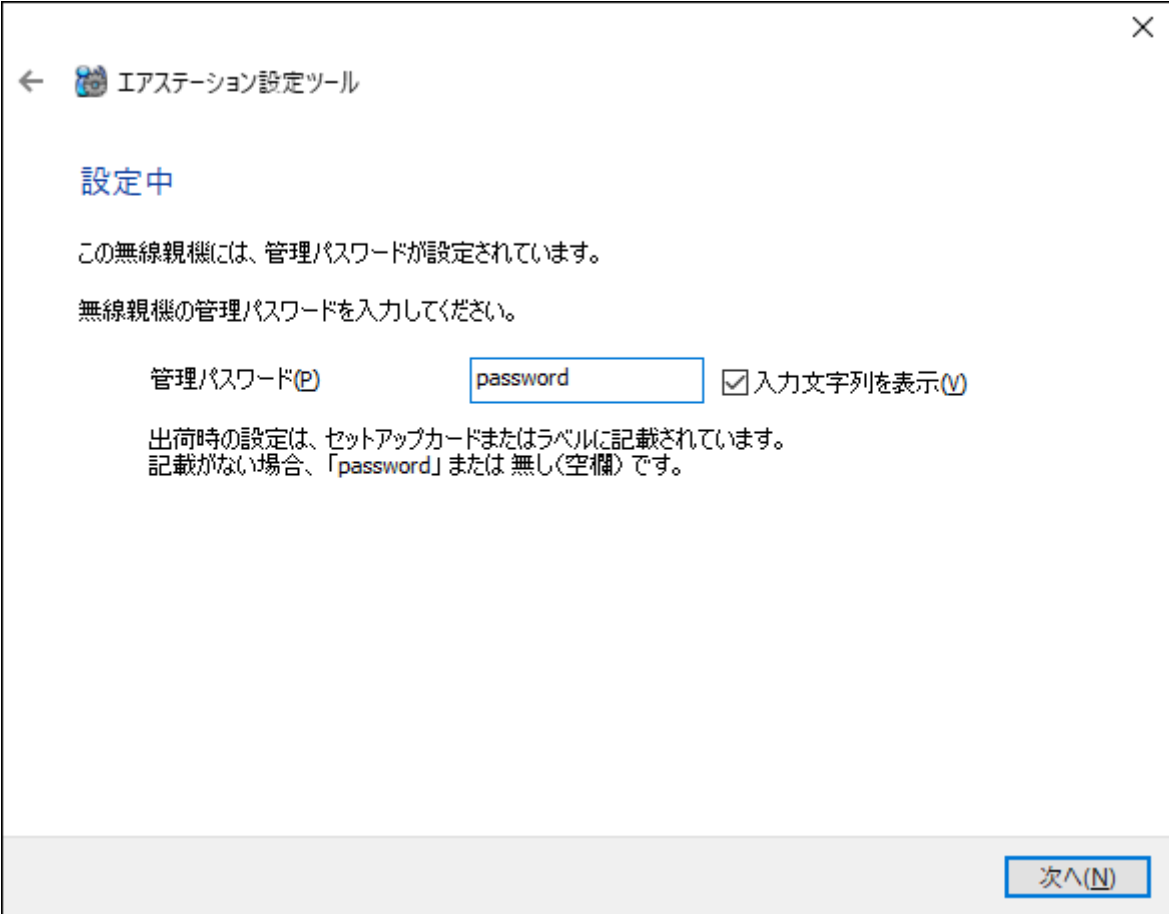
- ※ 無線親機の ROUTER スイッチが「AUTO」に設定されていて、かつ、ROUTER ランプが消灯している場合(ルーター機能無効時)は、この設定にはできません。
- ※ 参考情報 - このパソコンの IP アドレス:
68.11.2 / 255.255.255.0 : イーサネット (Intel(R) 82579V Gigabit Network Connection)


[次へ] をクリックすると、設定内容が無線親機に反映されます。

次へ(N)

メモ: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、「はい」をクリックしてください。

- 6 本製品に設定されている管理パスワード(出荷時状態ではセットアップカードに記載されている「本機ログイン用パスワード」)を入力し、「次へ」をクリックします。



←  エアステーション設定ツール

設定中

この無線親機には、管理パスワードが設定されています。

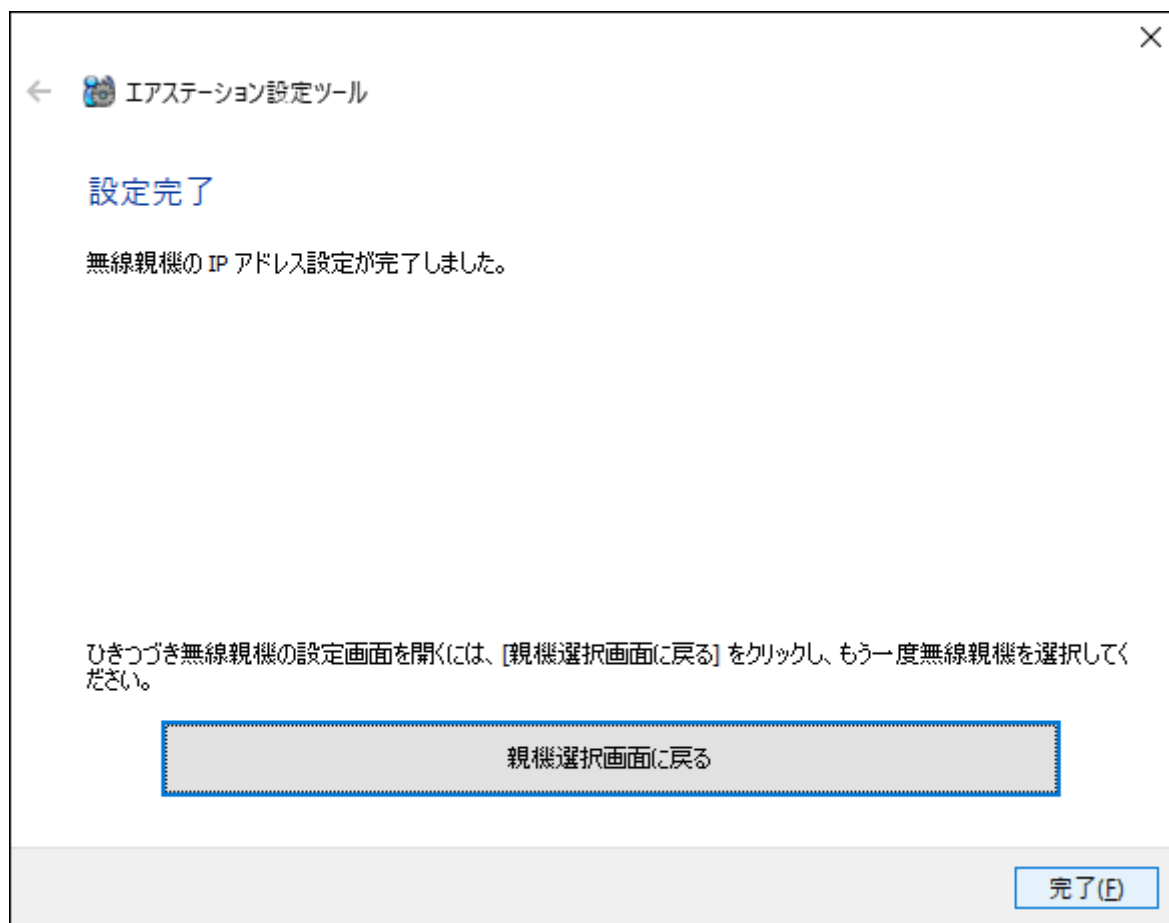
無線親機の管理パスワードを入力してください。

管理パスワード(P) 入力文字列を表示(V)

出荷時の設定は、セットアップカードまたはラベルに記載されています。
記載がない場合、「password」または無し(空欄)です。

次へ(N)

7 [完了]をクリックします。




以上で設定は完了です。

Macをお使いの場合

メモ:

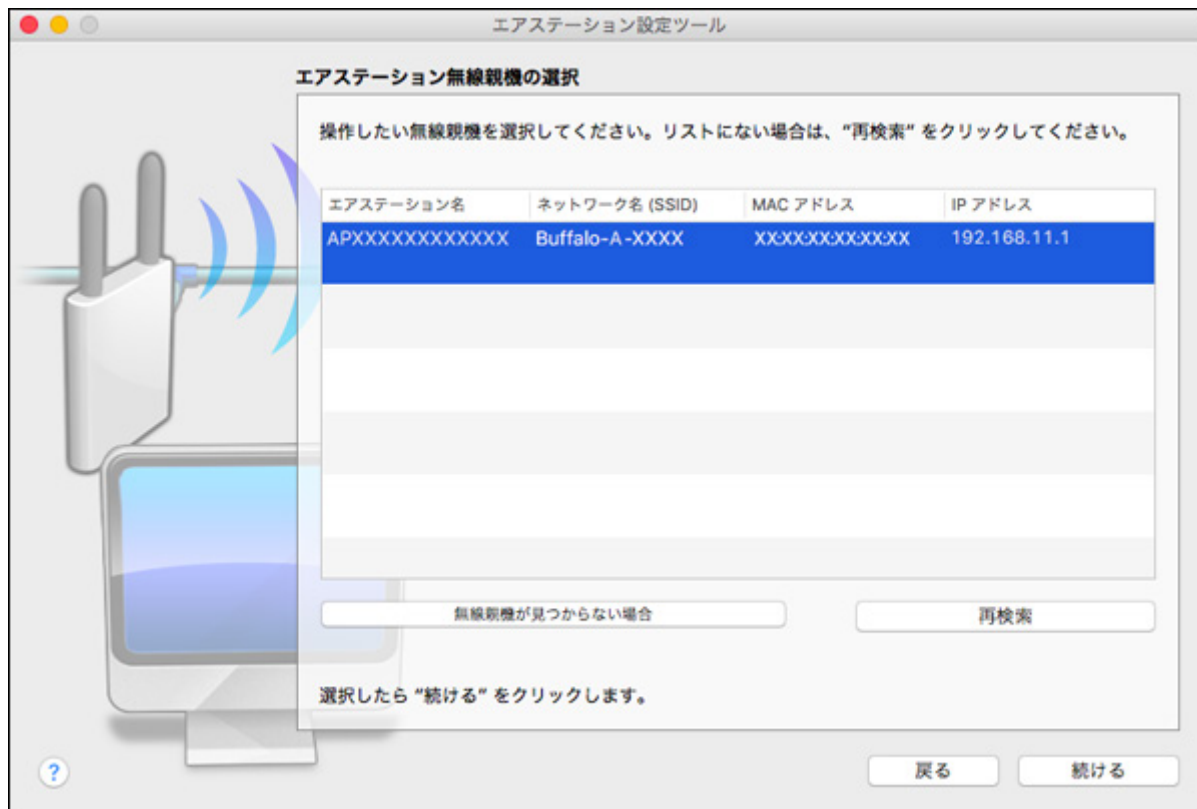
- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(https://www.buffalo.jp/support/download/detail/?dl_contents_id=60699)でダウンロードできます。
- Macを本製品に接続した状態で設定してください。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面の[詳細設定] - [LAN] - [LAN]からも変更できます。

1 エアステーション設定ツール  を実行します。

2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。



メモ: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。



5 新しく設定するIPアドレスを入力して[続ける]をクリックします。



メモ: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[無視して続ける]をクリックしてください。

6 本製品に設定されているパスワード(出荷時状態ではセットアップカードに記載されている「本機ログイン用パスワード」)を入力し、[続ける]をクリックします。



7 [終了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

フレッツ回線向けの設定をする(PPPoEマルチセッション)

本製品のPPPoEマルチセッション機能を使用して、1つの回線契約でプロバイダーとフレッツ回線向けサービス情報サイトに同時に接続するには、以下の設定を行ってください。


メモ:

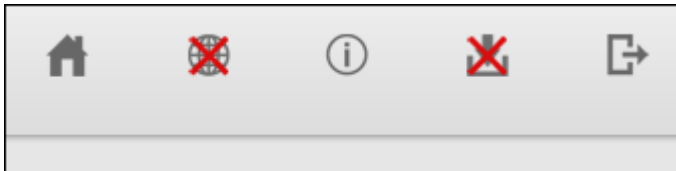
- NTT東日本向けフレッツ・スクウェアは、2011年6月1日より、「サービス情報サイト」に名称が変更されました。
- NTT西日本向けフレッツ・スクウェアは、2011年12月28日をもってサービス終了となりました。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、「[本製品の設定を変更するには](#)」(P.14)を参照してください。

2 本製品背面のINTERNET端子からLANケーブルを取り外します。

3 設定画面右上の  に×マークが付くことを確認します。

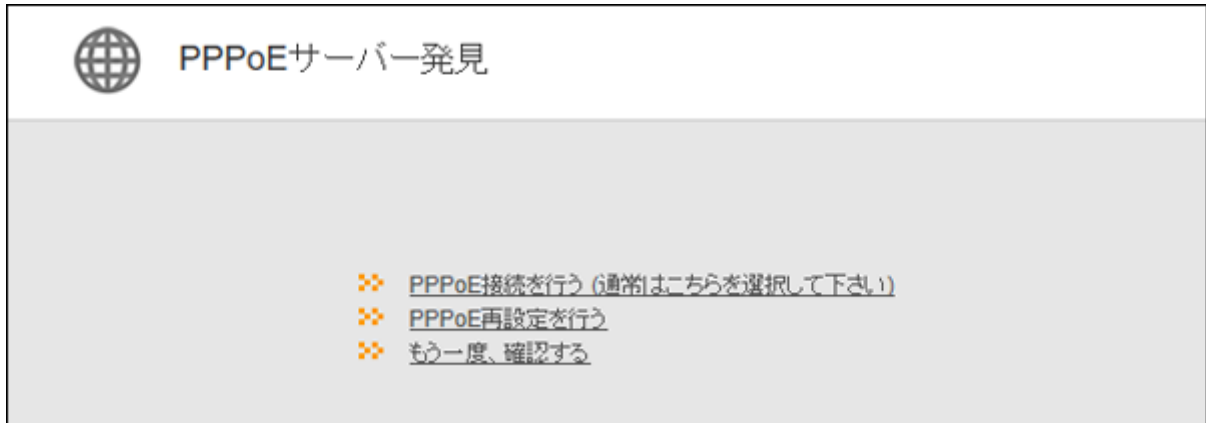


4  をクリックします。

5 手順2で抜いたLANケーブルを、本製品背面のINTERNET端子に再接続して、「ケーブルをInternetポートに挿して再確認する」をクリックします。

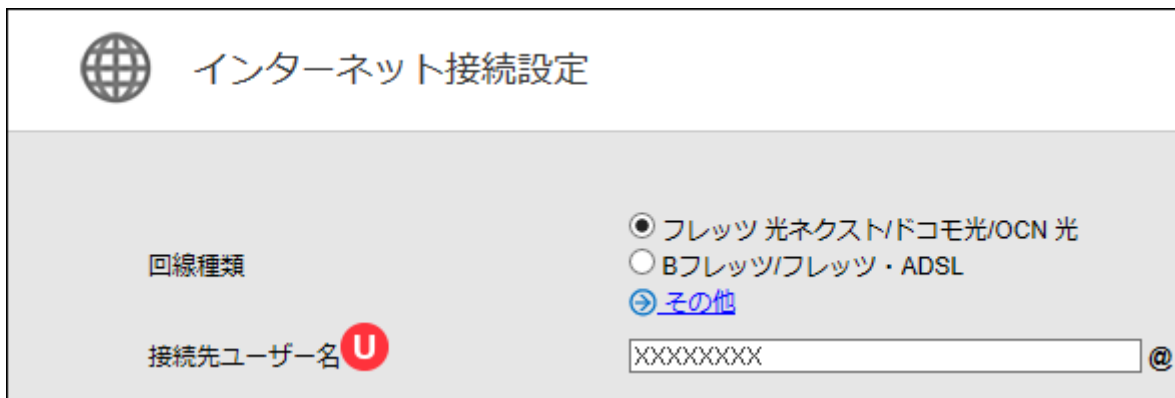


6 「PPPoE再設定を行う」をクリックします。



7 お使いの回線の種別に合わせて「回線種類」を選択します。

フレッツ 光ネクストをお使いの方は「フレッツ 光ネクスト/ドコモ光/OCN 光」を、それ以外の回線をお使いの方は、「Bフレッツ/フレッツ・ADSL」を選択してください。



10 フレッツ 光ライト/フレッツ 光ネクストをご契約の方は、アドレス欄に「v4flets-east.jp」(NTT東日本向け)または「v4flets-west.jp」(NTT西日本向け)と入力して、Enterキーを押します。

Bフレッツ/フレッツ・ADSLをご契約の方は、アドレス欄に「www.flets」と入力して、Enterキーを押します。



11 サービス情報サイトが表示されます。

以上で設定は完了です。

ルーター機能を停止する

本製品のルーター機能を使用しないで、アクセスポイントとして使用する場合は、以下の手順で行います。

メモ:

本製品のルーター機能をOFFにすると、本製品のIPアドレスが「192.168.11.100」に変更されます。また、以下の機能が無効になりますのでご注意ください。

- DHCPサーバー(IPアドレス自動割当)機能
- 静的IPマスカレード(アドレス変換)機能
- パケットフィルター機能
- PPPoEマルチセッション機能

1 本製品背面のスイッチを「AP」に設定します。

2 本製品に接続している機器を再起動します。

以上で設定は完了です。

本製品の設定を保存する・復元する

設定の保存

本製品の設定内容の保存は、以下の手順で行います。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「管理」-「設定管理/再起動」をクリックします。

3 「設定ファイルを保存する」を選択し、「設定操作実行」をクリックします。

設定管理	
操作	<input checked="" type="radio"/> 設定ファイルを保存する <input type="radio"/> 設定ファイルを復元する <input type="radio"/> 設定を初期化する
パスワード	<input type="checkbox"/> パスワードを使用する <input type="text"/> <input type="checkbox"/> パスワードを表示する
<input type="button" value="設定操作実行"/>	

メモ: パスワードを使って設定ファイルを暗号化する場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、「設定操作実行」をクリックしてください。

4 画面の表示に従って、設定ファイルを保存します。

設定の復元

本製品の設定を復元する場合は、以下の手順で行います。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「管理」-「設定管理/再起動」をクリックします。

3 「設定ファイルを復元する」を選択し、「設定ファイル」欄の[参照]をクリックして設定ファイルを指定し、[設定操作実行]をクリックします。

設定管理	
操作	<input type="radio"/> 設定ファイルを保存する <input checked="" type="radio"/> 設定ファイルを復元する <input type="radio"/> 設定を初期化する
設定ファイル	C:\Users\TC\Downla 参照...
パスワード	<input type="checkbox"/> パスワードを使用する <input type="text"/> <input type="checkbox"/> パスワードを表示する
設定操作実行	

メモ: 設定ファイルがパスワードで暗号化されている場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。

第4章 設定画面の詳細情報

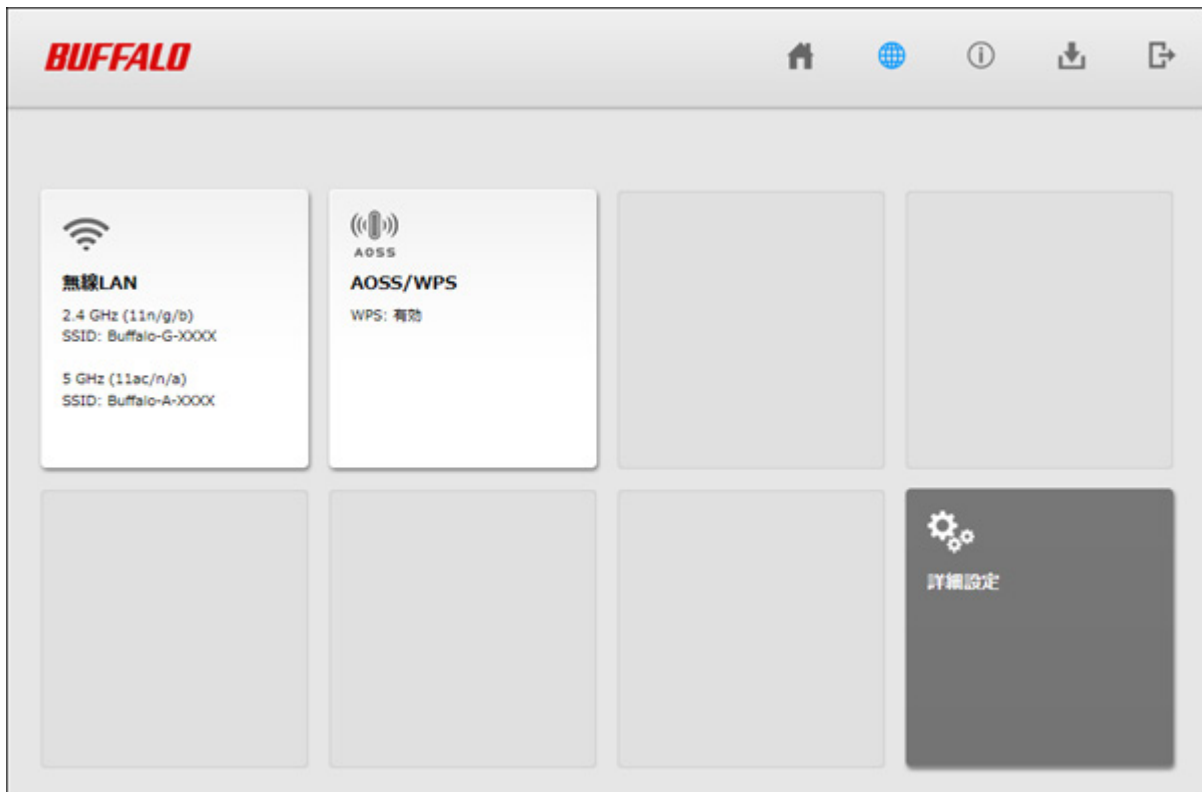
本章では、本製品の設定画面について説明します。

かんたん設定と詳細設定について

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

設定画面は「かんたん設定」と「詳細設定」に分かれており、用途によって使い分けることができます。少ない操作で設定を済ませたい場合は「かんたん設定」を、より高度な設定を行いたい場合は「詳細設定」を使用してください。

かんたん設定の画面(一例)



詳細設定画面(一例)

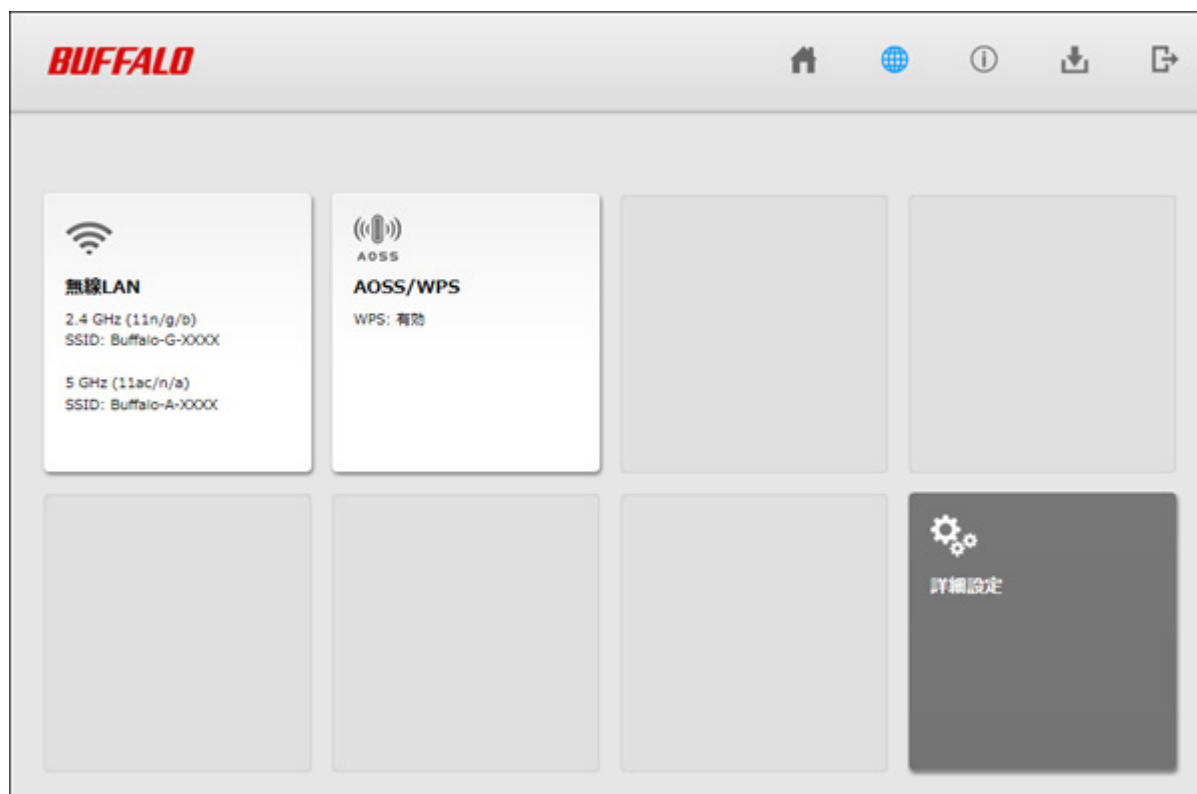








メモ: 設定画面の操作が5分間ない場合、設定画面から自動的にログアウトします。

かんたん設定画面

トップ画面


本製品の設定画面にログインした際、最初に表示される画面です。画面の内容は、本製品の動作モードによって異なります。ここでは、ルーターモード時の画面を例に説明します。



項目	内容
無線LAN	現在の無線LANの状態が表示されます。 クリックすると、無線LANの設定画面が表示されます。
AOSS/WPS	現在のAOSS/WPS設定の状態が表示されます。 クリックすると、「簡単設定を開始します(AOSS/WPSプッシュボタン式)」という画面が表示され、[OK]をクリックすると本製品がAOSS/WPS待ち受け状態になります。
詳細設定	パネルをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。
	クリックすると、トップ画面が表示されます。
	ルーターモード時のみ表示されます。インターネットへの接続状況を表示します。インターネットに未接続のとき()が表示されているときにクリックすると、インターネット接続の初期設定画面が表示されます。
	ファームウェアの更新がある場合などに点滅してお知らせします。クリックすると、本製品の動作モードが表示されます。 本製品底面のラベルに型番が「WSR-1166DHPL2 V2」と表示されている製品では、上記に加え、Internet@Start情報が表示されます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • Internet@Start 情報には、本製品のネットワーク判別情報が含まれています。SSIDや暗号化キー、パスワード、などの個人情報は一切含まれていません。 • 当社サポートをご利用する場合、当社からInternet@Start情報のご提供をお願いすることがあります。 • 当社はこれらの情報を安定したファームウェア変更と製品改善のためだけに利用し、それ以外の目的では利用いたしません。
	インターネットに接続しているときにクリックすると、取扱説明書やソフトウェアなどのダウンロードページが表示されます。
	クリックすると、設定画面からログアウトします。

無線LAN(ルーターモード時/アクセスポイントモード時のみ)

無線LANの基本設定を行う画面です。

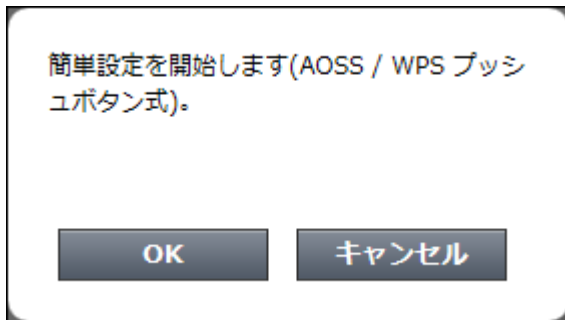
項目	内容
	クリックすると、詳細設定画面を表示します。
2.4GHz(11n/g/b) 5GHz(11ac/n/a)	無線の有効/無効を設定します。
SSID 1	SSIDを半角英数字記号で、1～32文字で設定します。
暗号化モード	<p>機器との接続の際の暗号化モードを以下から選択します。</p> <p>WPA2-PSK AES WPA2(IEEE802.11i)に準拠した認証を行い、暗号化方式にAESを使用します。</p> <p>WPA-PSK AES WPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行い、暗号化方式にAESを使用します。</p> <p>WPA/WPA2-mixed PSK TKIP+AES WPA-PSKおよびWPA2-PSKのどちらの認証も同時に行い、暗号化方式にTKIPまたはAESを使用します。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので暗号化なしでのご使用は避けてください。</p>
暗号化キー	<p>機器との認証で使用する暗号化キーを入力します。</p> <p>文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8～63文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。2.4GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。

項目	内容
帯域	無線で使用する帯域幅を設定します。帯域幅を大きくすると、通信速度の向上が見込めますが、周囲の電波状況が悪い場合は、効果が得られないことがあります。

AOSS/WPS

[OK]をクリックすると、本製品がAOSS/WPS待ち受け状態になります。

[キャンセル]をクリックすると、トップ画面に戻ります。



詳細設定画面

注意ボタンについて



上図のアイコンが画面上に表示されている場合は、そのアイコンをクリックしてください。その画面における注意事項が表示されるので、よくお読みになった上で設定を行ってください。

Internet

Internet側ポートの設定を行う画面です。

Internet > Internet(ルーターモード時のみ)

IPアドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> インターネット@スタートを行う <input checked="" type="checkbox"/> インターネット回線の変更時に自動で切り替える <input type="radio"/> DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 <input type="radio"/> PPPoEクライアント機能を使用する <input type="radio"/> transixを使用する <input type="radio"/> v6プラスを使用する <input type="radio"/> IPv6オプションを使用する <input type="radio"/> OCNバーチャルコネクトを使用する <input type="radio"/> クロスパスを使用する <input type="radio"/> v6 コネクトを使用する <input type="radio"/> その他のDS-Liteを使用する ゲートアドレス <input type="text"/> <input type="radio"/> 手動設定 IPアドレス <input type="text"/> サブネットマスク <input type="text" value="255.255.255.0"/>
<p>※PPPoE接続先の設定はInternet設定 - PPPoE設定で行ってください。</p>	
[拡張設定]	
デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS(ネーム)サーバーアドレス	プライマリー: <input type="text"/>
	セカンダリー: <input type="text"/>
Internet側MACアドレス	<input checked="" type="radio"/> デフォルトのMACアドレスを使用 (50:C4:DD:72:08:80) <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/>
Internet側MTU値	1500 <input type="text"/> バイト

項目	内容
IPアドレス取得方法	<p>インターネット側(IPv4)のIPアドレスの取得方法を指定します。 IPv4 over IPv6通信サービスをお使いの方は、当社ホームページ(https://www.buffalo.jp/support/other/network-ipv6.html)を参照してください。</p> <p>インターネット@スタートを行う インターネット回線の種類を自動的に判別し、インターネットに接続するまでの設定を自動的にやりたい場合を選択します。 通常はこの設定を選択してください。 「インターネット回線の変更時に自動で切り替える」にチェックを入れると、インターネット使用中も回線の自動判別を行い、変更があった場合は自動的に回線を切り替えます。その際、数分間通信ができなくなる場合があります。頻繁に回線が切り替わる場合は、チェックを外して使用してください。</p> <p>DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 インターネット側(IPv4)のIPアドレスをDHCPサーバーから自動取得する場合を選択します。</p> <p>PPPoEクライアント機能を使用する PPPoE機能を使用して、プロバイダーからIPアドレスを自動取得する場合を選択します。</p> <p>transixを使用する 「transix」をお使いの場合を選択します。</p> <p>v6プラスを使用する 「v6プラス」をお使いの場合を選択します。</p> <p>IPv6オプションを使用する 「IPv6オプション」をお使いの場合を選択します。</p> <p>OCNバーチャルコネクトを使用する 「OCNバーチャルコネクト」をお使いの場合を選択します。</p> <p>クロスパスを使用する 「クロスパス」をお使いの場合を選択します。</p> <p>v6 コネクトを使用する 「v6 コネクト」をお使いの場合を選択します。</p> <p>その他のDS-Liteを使用する その他のDS-Lite方式(「transix」、「クロスパス」、「v6 コネクト」とは異なるゲートアドレスの設定が必要な回線)をお使いの場合を選択して、ゲートアドレスを入力します。</p> <p>手動設定 インターネット側(IPv4)のIPアドレスを手動で設定したい場合を選択します。</p> <p>メモ: 「transix」、「v6プラス」、「IPv6オプション」、「OCNバーチャルコネクト」、「クロスパス」、「v6 コネクト」をお使いの場合で、本設定を選択しても接続できない場合は、[IPv6](P.62)で「NDプロキシを使用する」に設定してください。 それでも接続できない場合は、[IPv6](P.62)で「IPv6ブリッジを使用する」に設定してください。</p>
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。
Internet側MACアドレス	<p>インターネット側のMACアドレスを設定します。</p> <p>メモ: 不適切なMACアドレスを設定すると、本製品だけでなく、ネットワーク上のほかの機器も使用できなくなる場合があります。この設定は、お客様の責任において行ってください。</p>

項目	内容
Internet側MTU値	インターネットポートで通信を行うときに使用するMTUを578～1500バイトの範囲で設定します。

※「transix」は、インターネットマルチフィード株式会社の登録商標です。

※「v6プラス」は、株式会社JPIXの登録商標です。

※「OCNバーチャルコネク」は、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。

※「クロスパス」は、アルテリア・ネットワークス株式会社の商標です。

※「v6 コネク」は、株式会社朝日ネットの商標です。

PPPoE

PPPoEの設定画面です。

Internet > PPPoE(ルーターモード時のみ)

デフォルトの接続先 1 : Internet@Start ▼

PPPoE接続先リスト

接続先No.	名称	状態
1	Internet@Start	有効

[接続先の編集]

接続先経路の表示

No.	接続先	宛先アドレス	送信元アドレス
設定が登録されていません			

[接続先経路の編集]

項目	内容
デフォルトの接続先	PPPoE接続先リストで複数の接続先を登録している場合、ここで選択した接続先が優先されます。デフォルト以外の接続先を用いるときは、PPPoEの接続先経路設定を別途行う必要があります。
PPPoE接続先リスト	PPPoEの接続先の編集ができます。最大5セッションまで登録可能です。
接続先の編集	クリックすると、接続先の設定を編集する画面が表示されます。

項目	内容
PPPoE接続先リスト	<p>[接続先の編集]をクリックすると表示されます。</p> <p>接続先名称 接続先を識別するための名称を32文字までの半角英数字記号で入力します。</p> <p>接続先ユーザー名 PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のユーザー名を64文字までの半角英数字記号で設定します。</p> <p>接続先パスワード PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のパスワードを64文字までの半角英数字記号で設定します。</p> <p>サービス名 プロバイダーからサービス名の指定がある場合のみ64文字までの半角英数字記号で設定します。 プロバイダーから指定されなければ、空欄のままにします。</p> <p>接続方法 本製品がプロバイダーに接続するタイミングを指定します。</p> <p>自動切断 接続方法が「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を0～1440分の範囲で設定します。</p> <p>認証方法 プロバイダーとの認証方法を設定します。</p> <p>MTU値 PPPoEで通信を行うときに使用するMTU値を578～1492バイトの範囲で設定します。</p> <p>MRU値 PPPoEで通信を行うときに使用するMRU値を578～1492バイトの範囲で設定します。</p> <p>キープアライブ 有効にすると、本製品はPPPoEサーバーとの接続を維持するためにLCPエコーリクエストを1分に1度発行します。このとき、6分以上サーバーの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。頻繁にPPPoE接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバーである可能性があるため、無効に設定してください。</p>
接続先経路の表示	接続先経路を設定すると、設定した情報が表示されます。
接続先経路の編集	クリックすると、接続先経路を編集する画面が表示されます。
接続先経路の新規追加	<p>[接続先経路の編集]をクリックすると表示されます。</p> <p>接続先 「宛先アドレス」や「送信元アドレス」が一致する通信の場合にPPPoE接続を行う接続先です。PPPoE接続先リストに登録されている接続先から選択します。</p> <p>宛先アドレス 通信の宛先アドレスです。このアドレス宛へ通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。</p> <p>送信元アドレス 通信の送信元アドレスです。この送信元アドレスから通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。</p>

アドレス変換

アドレス変換の設定画面です。

Internet > アドレス変換(ルーターモード時のみ)

アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
拡張設定	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する
TCPタイムアウト時間	<input type="text" value="2500"/> 秒

項目	内容
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。
拡張設定	「表示する」を選択すると、アドレス変換の拡張設定項目が表示されます。
TCPタイムアウト時間	TCP通信におけるNATテーブルの保持期間を300～86400秒(1日)の範囲で設定します。 NATテーブルの不足により通信できなくなる場合に、TCPタイムアウト時間を短くするとで解決できることがあります。 ただし、TCPタイムアウト時間を短くした場合、ゲームなどの通信で切断が発生することがあります。

IPv6

IPv6の接続設定画面です。

Internet > IPv6(ルーターモード時のみ)

IPv6接続方法	<input type="radio"/> IPv6を使用しない <input checked="" type="radio"/> インターネット@スタートを行う <input type="checkbox"/> IPv6ブリッジを許可する <input type="radio"/> NTTフレッツ光ネクストを使用する <input type="radio"/> IPv6ネイティブを使用する <input type="radio"/> NDプロキシを使用する <input type="radio"/> IPv6ブリッジを使用する
----------	---

項目	内容
IPv6接続方法	<p>IPv6での接続方法を指定します。ご利用の回線がどの接続方法を採用しているかは、お使いのプロバイダーへご確認ください。</p> <p>IPv6を使用しない インターネット回線がIPv6に対応していないときに選択します。</p> <p>インターネット@スタートを行う インターネット回線の種類を自動的に判別し、インターネットに接続するまでの設定を自動的に行います。 IPv6 PPPoEには対応していません。 「IPv6ブリッジを許可する」にチェックを入れると、インターネット@スタートの自動判別で「IPv6ブリッジを使用する」が選択される場合があります。</p> <p>NTTフレッツ光ネクストを使用する プレフィックス長が64ビットより短いNTTフレッツ 光ネクスト回線をお使いの場合に選択します(本設定は、通常は使用しません)。</p> <p>IPv6ネイティブを使用する 後述の「IPv6プレフィックス取得方法」を設定する必要がある場合に選択します。</p> <p>NDプロキシを使用する 下記の「IPv6ブリッジを使用する」よりもセキュリティーを高めた動作モードで、インターネット側とLAN側とのIPv6通信に対して、ファイアウォールやIPv6フィルターを適用します。 「ひかりTV」などのフレッツIPv6サービスを利用する場合に選択します。</p> <p>IPv6ブリッジを使用する インターネット側とLAN側とのIPv6通信に対して、ファイアウォールやIPv6フィルターを使用できない場合に選択します。</p> <p>メモ: IPv6ブリッジを使用すると、インターネット側から本製品に接続している機器にアクセスできる場合があります。本製品に接続している機器のセキュリティー設定を確認した上でご使用ください。</p>
IPv6ブリッジを許可する	<p>この項目にチェックが入っていると、「インターネット@スタートを行う」を選択している際、インターネットとLANの間でIPv6パケットが通過できる「IPv6ブリッジ」が選択されることがあります。</p>

項目	内容
IPv6プレフィックス取得方法	<p>「IPv6ネイティブを使用する」を選択した際に表示されます。 IPv6アドレスのプレフィックスを取得する方法を以下から選択します。</p> <p>自動取得(DHCPv6-PD) DHCPv6サーバーから自動的にIPv6プレフィックスを取得します。</p> <p>手動設定 IPv6プレフィックスを手動で入力します。グローバルプレフィックスを入力し、プレフィックス長を選択します。</p> <p>メモ: IPv6プレフィックス取得方法を「手動設定」にした場合は、必ずIPv6デフォルトゲートウェイを設定してください。</p>
LAN側IPv6アドレス自動配布方法	<p>「NTTフレッツ光ネクストを使用する」または「IPv6ネイティブを使用する」を選択した際に表示されます。 LAN側ネットワークにIPv6アドレスを配布する方法を指定します。</p> <p>ステートレスアドレス自動設定で配布 Router Advertiseプロトコルを用いて、各ホストにアドレスを自動で配布します。</p> <p>DHCPv6サーバーで配布 DHCPv6サーバー機能を利用して、各ホストにアドレスを自動で配布します。この方法を選択する場合は、DHCPv6サーバーがアドレスを配布する時間、配布するアドレスの範囲を「リース期間」「リース範囲」にそれぞれ設定します。</p>
IPv6デフォルトゲートウェイ	<p>「IPv6ネイティブを使用する」を選択した際に表示されます。 デフォルトゲートウェイとなるIPv6アドレスを入力します。</p> <p>メモ: IPv6プレフィックス取得方法を「自動取得」にしている場合は設定する必要はありません。「手動設定」にしている場合は、正しく入力しないとIPv6ネットワークと正しく接続できなくなります。</p>
LAN側サブネットID	<p>「NTTフレッツ光ネクストを使用する」または「IPv6ネイティブを使用する」を選択した際に表示されます。 LAN側ネットワークのサブネットIDを16進数で入力します。</p>
LAN側インターフェースID	<p>「NTTフレッツ光ネクストを使用する」または「IPv6ネイティブを使用する」を選択した際に表示されます。 本製品のグローバルアドレスのインターフェースIDを設定します。</p>
DNSサーバーの通知	<p>「NTTフレッツ光ネクストを使用する」または「IPv6ネイティブを使用する」を選択した際に表示されます。 IPv6アドレスがリースされた機器に対して通知するDNSサーバーのIPv6アドレスを設定します。</p>

LAN

LAN側ポートの設定画面です。

LAN > LAN

LAN側IPアドレス	IPアドレス	192.168.11.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
割り当てIPアドレス	192.168.11.2	から 64 台
	除外アドレス:	
DHCPサーバー設定 [拡張設定]		
	<input type="checkbox"/> 表示する	

項目	内容
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー(IPアドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを設定します。
割り当てIPアドレス	DHCPサーバー機能で割り当てるIPアドレスの範囲とその範囲から除外するIPアドレスを設定します。
拡張設定	「表示する」を選択すると、DHCPサーバーの拡張設定項目が表示されます。
リース期間	DHCPサーバー機能で割り当てたIPアドレスの有効期間を設定します。
デフォルトゲートウェイの通知	DHCPサーバー機能で通知するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
WINSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するWINSサーバーのIPアドレスを設定します。
ドメイン名の通知	DHCPサーバー機能で通知するドメイン名を設定します。

DHCPリース

DHCPリースの設定画面です。

LAN > DHCPリース(ルーターモード時のみ)

リース情報				
IPアドレス	MACアドレス	リース期間	状態	操作
192.168.11.2 (*)	XX:XX:XX:XX:XX:XX	47:27:09	自動割当	手動割当に変更
192.168.11.3	XX:XX:XX:XX:XX:XX	47:40:25	自動割当	手動割当に変更
192.168.11.4	XX:XX:XX:XX:XX:XX	47:50:12	自動割当	手動割当に変更

(*) 設定画面を表示している機器のIPアドレス(192.168.11.2)

リース情報の追加

現在の状態を表示

項目	内容
リース情報	現在のリース情報が表示されます。 自動リースされたIPアドレスは、[手動割当に変更]をクリックすると、手動リースに変更できます。
[リース情報の追加]	クリックすると、リース情報の追加画面が表示されます。
リース情報の新規追加	[リース情報の追加]をクリックすると表示されます。 IPアドレス 手動リースするIPアドレスを入力します。本製品のLANポートのネットワークアドレスに含まれないIPアドレスは設定できません。 MACアドレス 機器を識別するMACアドレスを入力します。

経路情報

本製品が行う通信のIP経路の設定画面です。

LAN > 経路情報

経路情報

宛先アドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	操作
経路情報はありません				
<input type="button" value="新規追加"/>				

項目	内容
宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを表示します。
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを表示します。
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越えるルーター数)を表示します。
経路情報	手動で追加したルーティングテーブルを確認できます。
[新規追加]	クリックすると、経路情報の追加画面が表示されます。
経路の新規追加	<p>[新規追加]をクリックすると表示されます。</p> <p>宛先アドレス ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを設定します。</p> <p>ゲートウェイ ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを設定します。</p> <p>メトリック ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越えるルーター数)を設定します。</p>

2.4GHz(11n/g/b)

2.4GHz(11n/g/b)無線の設定画面です。

無線設定 > 2.4GHz(11n/g/b)

[基本設定]	
無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
無線チャンネル	自動 <input type="text"/> (現在のチャンネル: 6)
倍速モード	帯域: 144.4 Mbps (20 MHz) <input type="text"/> (Current: 20 MHz) 拡張チャンネル 4 <input type="text"/>
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する
SSID1	
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
隔離機能	<input type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-G-XXXX) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
無線の認証	WPA2-PSK <input type="text"/>
無線の暗号化	AES <input type="text"/>
WPA-PSK(事前共有キー)	xxxxxxxxxxxx
Key更新間隔	0 <input type="text"/> 分

SSID2	
SSID2	<input type="checkbox"/> 使用する 
隔離機能	<input type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-G-XXXX_2) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
WEP暗号化キー設定	文字入力・13文字(WEP 128) ▼ <input checked="" type="radio"/> 1: <input type="text"/> <input type="radio"/> 2: <input type="text"/> <input type="radio"/> 3: <input type="text"/> <input type="radio"/> 4: <input type="text"/>
[拡張設定]	
BSS BasicRateSet	1,2,5,5,11 Mbps ▼
Multicast Rate	1 Mbps ▼
802.11n プロテクション	<input type="checkbox"/> 使用する
DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	<input type="checkbox"/> 使用する
送信出力	100 % ▼

項目	内容
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。2.4GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。
倍速モード	無線通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を300Mbps(40MHz)に設定してください。
ANY接続	チェックを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。 メモ: ANY接続を無効にすると、2.4GHzでWPSを実行できなくなります。
SSID 1 SSID 2	本製品のメインSSID(SSID 1)とサブSSID(SSID 2)を使用するかどうかを設定します。
隔離機能	設定を有効にすると、そのSSIDに接続している機器はインターネット側とだけ通信可能になります。
SSID	SSIDを半角英数字記号で、1~32文字で設定します。

項目	内容
無線の認証	<p>SSID 1へ接続する際に使用する認証方式を以下から選択します(SSID 2については、認証方式の選択はできません)。</p> <p>WPA-PSK 機器との接続の際にWPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p> <p>WPA2-PSK 機器との接続の際にWPA2(IEEE802.11i)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p> <p>WPA/WPA2 mixed mode-PSK 機器との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKのどちらの機器の認証も同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p> <p>認証を行わない 機器との接続の際に認証を行いません。</p>
無線の暗号化	<p>SSID 1へ接続する際に使用するデータ暗号化の種類を以下から選択します(SSID 2については、暗号化の種類がWEPのみで選択はできません)。</p> <p>TKIP/AES mixed mode TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixed mode-PSK」を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>AES 暗号化の方式にAES(強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線LAN機器と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 SSID 1の無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。</p>
WPA-PSK(事前共有キー)	<p>機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8~63文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
Key更新間隔	<p>通信用暗号化キーを更新する間隔を0~1440分の範囲で設定します。</p>
WEP暗号化キー設定	<p>無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。</p>
BSS BasicRateSet	<p>本製品と機器の制御通信フレームの通信速度を設定します。</p>
Multicast Rate	<p>マルチキャストパケットの通信速度を設定します。</p>
802.11nプロテクション	<p>従来規格の機器が混在している環境でも、コリジョンなどによって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。</p>
DTIM Period	<p>機器に通知するビーコン応答間隔(1~255)の設定をします。機器のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。</p>
プライバシーセパレーター	<p>機器間の無線通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、同一の接続先に接続している機器同士の無線通信ができなくなります。有線側からは、機器と通信できます。</p>
送信出力	<p>本製品が無線送信を行うときの電波送信出力を設定します。</p>

5GHz(11ac/n/a)

5GHz(11ac/n/a)無線の設定画面です。


無線設定 > 5GHz(11ac/n/a)

[基本設定]

無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
無線チャンネル	自動 (現在のチャンネル: 116) ※DFSありの場合、気象レーダー等を感知すると自動的にチャンネルが変更されます
倍速モード	帯域: 866 Mbps (80 MHz) (Current: 80 MHz)
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する

SSID1

SSID1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
隔離機能	<input type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-A-XXXX) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
無線の認証	WPA2-PSK
無線の暗号化	AES
WPA-PSK(事前共有キー)	xxxx xxxxxxxxxx
Key更新間隔	0 分

SSID2	
SSID2	<input type="checkbox"/> 使用する 
隔離機能	<input type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-A-XXXX_2) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
WEP暗号化キー設定	文字入力・13文字(WEP 128) ▼ <input checked="" type="radio"/> 1: <input type="text"/> <input type="radio"/> 2: <input type="text"/> <input type="radio"/> 3: <input type="text"/> <input type="radio"/> 4: <input type="text"/>

[拡張設定]

BSS BasicRateSet	6,12,24 Mbps ▼
Multicast Rate	6 Mbps ▼
802.11n プロテクション	<input type="checkbox"/> 使用する
DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	<input type="checkbox"/> 使用する
送信出力	100 % ▼
MU-MIMO	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

項目	内容
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。DFSに対応したチャンネルを選択した場合は、本製品が気象レーダーなどを感知すると、自動的にチャンネルが変更されます。 「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。
倍速モード	無線通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を866Mbps(80MHz)に設定してください。
ANY接続	チェックを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。 メモ: ANY接続を無効にすると、5GHzでWPSを実行できなくなります。
SSID 1 SSID 2	本製品のメインSSID(SSID 1)とサブSSID(SSID 2)を使用するかどうかを設定します。
隔離機能	設定を有効にすると、そのSSIDに接続している機器はインターネット側とだけ通信可能になります。
SSID	SSIDを半角英数字記号で、1~32文字で設定します。

項目	内容
無線の認証	<p>SSID 1へ接続する際に使用する認証方式を以下から選択します(SSID 2については、認証方式の選択はできません)。</p> <p>WPA-PSK 機器との接続の際にWPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p> <p>WPA2-PSK 機器との接続の際にWPA2(IEEE802.11i)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p> <p>WPA/WPA2 mixed mode-PSK 機器との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKのどちらの機器の認証も同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p> <p>認証を行わない 機器との接続の際に認証を行いません。</p>
無線の暗号化	<p>SSID 1へ接続する際に使用するデータ暗号化の種類を以下から選択します(SSID 2については、暗号化の種類がWEPのみで選択はできません)。</p> <p>TKIP/AES mixed mode TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixed mode-PSK」を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>AES 暗号化の方式にAES(強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して無線LAN機器と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 SSID 1の無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。</p>
WPA-PSK(事前共有キー)	<p>機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8~63文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
Key更新間隔	<p>通信用暗号化キーを更新する間隔を0~1440分の範囲で設定します。</p>
WEP暗号化キー設定	<p>無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0~9およびa~f(大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。</p>
BSS BasicRateSet	<p>本製品と機器の制御通信フレームの通信速度を設定します。</p>
Multicast Rate	<p>マルチキャストパケットの通信速度を設定します。</p>
802.11nプロテクション	<p>従来規格の機器が混在している環境でも、コリジョンなどによって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。</p>
DTIM Period	<p>機器に通知するビーコン応答間隔(1~255)の設定をします。機器のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。</p>
プライバシーセパレーター	<p>機器間の無線通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、同一の接続先に接続している機器同士の無線通信ができなくなります。有線側からは、機器と無線通信できます。</p>
送信出力	<p>本製品が無線送信を行うときの電波送信出力を設定します。</p>

項目	内容
MU-MIMO	複数のMU-MIMO対応機器が接続している場合に、MU-MIMOによる通信を行うかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、複数のMU-MIMO対応機器と同時通信を行う場合に通信速度の向上や応答速度の改善が見込めます。 「使用する」に設定後、MU-MIMO対応機器の同時通信時に通信速度が安定しない、通信速度が低下するなどの現象が発生した場合は、「使用する」のチェックを外してください。

WPS

WPSの設定や状況を確認する画面です。

無線設定 > WPS(ルーターモード時/アクセスポイントモード時のみ)

WPS機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
外部Registrar	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
エアステーションのPINコード	XXXXXXXX <input type="button" value="PIN生成"/>
EnrolleeのPINコード	<input type="text"/> <input type="button" value="OK"/>
WPS用無線セキュリティー設定	
WPSステータス	configured <input type="button" value="解除"/>
2.4GHz	SSID: Buffalo-G-XXXX セキュリティー: WPA2-PSK AES 暗号鍵: XXXXXXXXXXXXXXXX
5GHz	SSID: Buffalo-A-XXXX セキュリティー: WPA2-PSK AES 暗号鍵: XXXXXXXXXXXXXXXX

項目	内容
WPS機能	WPS機能を使用するかどうかを設定します。 メモ: 「ANY接続」を無効にしている周波数帯では、WPSを実行できません。
外部Registrar	WPS機能を使用する際に、外部Registrarからのconfigure要求を受け付けるかどうかを設定します。 AOSS接続を行うと、外部Registrarの要求を受け付けなくなります。
エアステーションのPINコード	本製品のPINコードが表示されます。[PIN生成]をクリックすると、新しいPINコードが生成されます。
EnrolleeのPINコード	機器のPINコードを入力して[OK]をクリックすると、本製品の内部Registrarが、そのPINコードを持つ機器からの接続要求を受け付ける状態になります。
WPS用無線セキュリティー設定	本製品のWPS状態と現在設定されているSSID、セキュリティー、暗号鍵が表示されます。

AOSS

AOSSの設定や状況を確認する画面です。

無線設定 > AOSS(ルーターモード時/アクセスポイントモード時のみ)


AOSS動作設定

AOSS 状態	AOSS 有効 
WEPをゲーム専用にする	2.4GHz <input type="checkbox"/> 使用する
	5GHz <input type="checkbox"/> 使用する
本体側AOSSボタン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

AOSS接続先情報

接続先情報	MACアドレス	暗号化レベル	無線	AOSS	
XXXX-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	WEP64/WEP128		5GHz	AOSS
		WPA-PSK-TKIP (2.4GHz)			
		WPA-PSK-AES			
		WEP64/WEP128			
		WPA-PSK-TKIP (5GHz)			
		WPA-PSK-AES			

AOSS接続先情報の編集

項目	内容
AOSS状態	現在のAOSSの状態を表示します。AOSS有効時に、  をクリックすると、AOSS接続が解除されます(その際、SSIDや暗号化キーもAOSSを使用する前の値に戻ります)。
WEPをゲーム専用にする	設定を有効にすると、本製品にWEPで接続できる機器は、WEPのみをサポートした機器となり、WPA(またはWPA2)とWEPの両方に対応した機器は、WEPでは接続できなくなります。
本体側AOSSボタン	「使用する」のチェックを外した場合は、本製品のAOSSボタンを押してもAOSS接続は実行されず、WPS接続のみが実行されます

項目	内容
AOSS接続先情報	<p>本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の情報が表示されます。</p> <p>接続先情報 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の名称が表示されます。</p> <p>MACアドレス 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器のMACアドレスが表示されます。</p> <p>暗号化レベル 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の対応可能な暗号化の種類が表示されます。</p> <p>無線 現在、接続している無線方式が表示されます。</p> <p>AOSS AOSSで接続しているときに表示されます。</p>

MACアクセス制限

機器からのアクセス制限を設定する画面です。

無線設定 > MACアクセス制限

無線パソコンの接続 (2.4GHz)	<input type="checkbox"/> 制限する
無線パソコンの接続 (5GHz)	<input type="checkbox"/> 制限する
登録リスト	
MACアドレス	接続状態
MACアドレスが登録されていません	
登録リストの編集	

項目	内容
無線パソコンの接続	機器からの接続を制限するかどうかを設定します。
登録リスト	<p>MACアクセス制限で、接続を許可する機器のMACアドレスが表示されます。MACアドレスの登録は、[登録リストの編集]をクリックして行います。</p> <p>MACアドレス MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されます。</p> <p>接続状態 リストに登録した機器が、現在接続しているかどうかを表示します。接続中であれば「○」、未接続であれば「×」が表示されます。</p>

項目	内容
登録リストの編集	登録したMACアドレスを編集できます。 MACアドレス リストに登録した機器のMACアドレスが表示されます。 操作 [修正]をクリックすると、登録したMACアドレスを修正できます。 [削除]をクリックすると、登録したMACアドレスが削除されます。
登録するMACアドレス	接続を許可する機器のMACアドレスを入力します。 [新規追加]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。
検出された無線パソコン一覧	本製品に接続している機器のMACアドレスをリストに登録できます。 MACアドレス 本製品に接続している機器のMACアドレスが表示されます。 操作 [登録]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。[現在の状態を表示]をクリックすると、現在の状態が表示されます。

マルチキャスト制御

無線LAN(Wi-Fi)ポートに不必要なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。

無線設定 > マルチキャスト制御

Snooping 機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
マルチキャストAging Time	<input type="text" value="300"/> 秒

項目	内容
Snooping機能	IGMPなどのマルチキャスト管理パケットを監視し、不必要な有線・無線各ポートへのマルチキャストの転送を抑制できる、マルチキャストSnooping(スヌーピング)機能を使用するかどうかを設定します。
マルチキャストAging Time	マルチキャストSnooping機能によって学習した情報を保持する時間を10~3600(秒)の範囲で設定します。IGMP/MLDクエリー間隔よりも十分に大きな値を入力する必要があります。

無線引っ越し機能

無線引っ越し機能を使用した際の無線設定の引き継ぎ状況を表示する画面です。

無線設定 > 無線引っ越し機能

無線引っ越し状態
無線引っ越し済み

無線引っ越し機能用セキュリティー設定

11n/g/b	SSID	Buffalo-G-XXXX
	セキュリティー	WPA/WPA2-mixed mode - PSK TKIP/AES mixed mode
	暗号鍵	XXXXXXXXXXXXXXXX
	SSID	Buffalo-G-XXXX-4
11ac/n/a	セキュリティー	WPA/WPA2-mixed mode - PSK TKIP/AES mixed mode
	暗号鍵	XXXXXXXXXXXXXXXX
	SSID	Buffalo-G-XXXX-2
	セキュリティー	認証を行わない WEP128
11ac/n/a	暗号鍵	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
	SSID	Buffalo-G-XXXX-3
	セキュリティー	認証を行わない WEP64
	暗号鍵	XXXXXXXXXX
11ac/n/a	SSID	Buffalo-A-XXXX
	セキュリティー	WPA/WPA2-mixed mode - PSK TKIP/AES mixed mode
	暗号鍵	XXXXXXXXXXXXXXXX
	SSID	Buffalo-A-XXXX-4
11ac/n/a	セキュリティー	WPA/WPA2-mixed mode - PSK TKIP/AES mixed mode
	暗号鍵	XXXXXXXXXXXXXXXX
	SSID	Buffalo-A-XXXX-2
	セキュリティー	認証を行わない WEP128
11ac/n/a	暗号鍵	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
	SSID	Buffalo-A-XXXX-3
	セキュリティー	認証を行わない WEP64
	暗号鍵	XXXXXXXXXX

引っ越した設定を全削除

項目	内容
無線引っ越し状態	無線の引っ越しを実施したかどうかを表示します。
無線引っ越し機能用セキュリティー設定	無線引っ越し機能を使用して引き継いだ無線設定情報を表示します。
引っ越した設定を全削除	クリックすると、無線引っ越し機能で引き継いだ無線設定をすべて削除します。

メモ:

- 無線の引っ越し方法は、本製品に付属している「セットアップガイド」を参照してください。
- 無線の引っ越しを実施した状態でもう一度無線の引っ越しを行いたい場合は、[引っ越しした設定を全削除]をクリックして設定を削除してから実施してください。

ファイアウォール

ファイアウォールの設定画面です。

セキュリティ > ファイアウォール(ルーターモード時のみ)

ファイアウォール設定 - IPv4		
有効	簡易ルール	パケット数
<input type="checkbox"/>	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する	0
<input checked="" type="checkbox"/>	IDENTの要求を拒否する	0
<input checked="" type="checkbox"/>	Internet側からのPINGに回答しない	0

ファイアウォール設定 - IPv6		
有効	簡易ルール	パケット数
<input checked="" type="checkbox"/>	Microsoft-DS/SMB2.0のルーティングを禁止する	0
<input checked="" type="checkbox"/>	IDENTの要求を拒否する	0
<input type="checkbox"/>	Internet側からのPINGに回答しない	0
<input checked="" type="checkbox"/>	Internet側からの接続要求を転送しない	0

項目	内容
ファイアウォール設定-IPv4	<p>IPv4接続で簡易フィルターを使用するかどうかを設定します。各フィルターの内容は以下のとおりです。</p> <p>NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する 有効にすると、インターネット側からLAN側およびLAN側からインターネット側へのMicrosoftネットワーク共有機能は使用できなくなります。</p> <p>IDENTの要求を拒否する 有効にすると、インターネット側からのIDENTの認証要求に対して拒否パケットを送ります。メール送信、ftp、ブラウザなどのネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。アドレス変換設定で、IDENTの要求をLAN側パソコンに転送する設定(DMZまたはTCPポート:113)になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。</p> <p>Internet側からのPINGに応答しない 有効にすると、インターネット側からのPINGに応答しなくなります。</p> <p>メモ: 「transix」、「v6プラス」、「IPv6オプション」、「OCNバーチャルコネクタ」、「クロスパス」、「v6 コネクト」などのサービスをお使いの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本項目は設定変更できません。 ・ 本項目の回線側を含めた動作は、本項目の表示に関わらず回線仕様に従います。
ファイアウォール設定-IPv6	<p>IPv6接続で簡易フィルターを使用するかどうかを設定します。各フィルターの内容は以下のとおりです。</p> <p>Microsoft-DS/SMB2.0のルーティングを禁止する 有効にすると、外部のWindowsパソコンとのIPv6を利用したWindowsファイル共有機能によるファイル共有を遮断します。</p> <p>IDENTの要求を拒否する 有効にすると、インターネット側からのIDENTの認証要求に対して拒否パケットを送ります。メール送信、ftp、ブラウザなどのネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。アドレス変換設定で、IDENTの要求をLAN側パソコンに転送する設定(DMZまたはTCPポート:113)になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。</p> <p>Internet側からのPINGに応答しない 有効にすると、インターネット側からのPINGに応答しなくなります。</p> <p>Internet側からの接続要求を転送しない 有効にすると、インターネット側からの接続要求を遮断します。</p> <p>メモ: 以下の場合、ファイアウォールは動作しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「IPv6」(P.62)で、IPv6接続方法を「IPv6ブリッジを使用する」に設定している場合 ・ インターネット@スタートの自動判別で「IPv6ブリッジ」が選択された場合

IPフィルター

LAN側とInternet側の間で通過するパケットに関する、IPフィルターの編集を行う画面です。

セキュリティ > IPフィルター(ルーターモード時のみ)

IPフィルターの新規追加

動作	<input type="text" value="無視"/>	
方向	<input type="text" value="Internet->LAN"/>	
IPアドレス	送信元: <input style="width: 150px;" type="text"/>	->宛先: <input style="width: 150px;" type="text"/>
プロトコル	<input type="radio"/> 全て	
	<input type="radio"/> ICMP	
	<input type="radio"/> 任意	プロトコル番号: <input style="width: 80px;" type="text"/>
	<input checked="" type="radio"/> TCP/UDP	<input type="text" value="任意のTCPポート"/> <input 100px;"="" type="text" value="任意のTCP/UDPポート: <input style=" width:=""/>

IPフィルター登録情報

動作	方向	送信元アドレス 宛先アドレス	プロトコル	パケット数	操作
IPフィルター設定が未登録					

項目	内容
動作	対象パケットの処理方法を指定します。
方向	対象パケットの通信方向を指定します。
IPアドレス	対象パケットの送信元IPアドレスと宛先IPアドレスを指定します。
プロトコル	対象パケットのプロトコルを選択します。
IPフィルター登録情報	登録されているIPフィルターを一覧で表示します。

IPv6フィルター

LAN側とインターネット側の間で通過するパケットに関する、IPフィルターの編集を行う画面です。IPv6接続の場合はこの画面で設定を行ってください。

メモ: 以下の場合は、IPv6フィルターは動作しません。

- ・ [「IPv6」\(P.62\)](#)で、IPv6接続方法を「IPv6ブリッジを使用する」に設定している場合
- ・ インターネット@スタートの自動判別で「IPv6ブリッジ」が選択された場合

セキュリティ > IPv6フィルター(ルーターモード時のみ)

IPv6フィルターの新規追加

動作	<input type="text" value="無視"/>				
方向	<input type="text" value="Internet->LAN"/>				
IPアドレス	送信元:	<input type="text"/>			
	宛先:	<input type="text"/>			
プロトコル	<input type="radio"/> 全て				
	<input type="radio"/> ICMPv6				
	<input type="radio"/> 任意	プロトコル番号:	<input type="text"/>		
	<input checked="" type="radio"/> TCP/UDP	任意のTCPポート	<input type="text"/>	任意のTCP/UDPポート:	<input type="text"/>

IPv6フィルター登録情報

動作	方向	送信元アドレス 宛先アドレス	プロトコル	パケット数	操作
IPv6フィルター設定が未登録					

項目	内容
動作	対象パケットの処理方法を指定します。
方向	対象パケットの通信方向を指定します。
IPアドレス	対象パケットの送信元IPアドレスと宛先IPアドレスを指定します。
プロトコル	対象パケットのプロトコルを選択します。
IPv6フィルター登録情報	登録されているIPフィルターを一覧で表示します。

パススルー

PPPoEパススルー、PPTPパススルーに関する設定画面です。

セキュリティ > パススルー(ルーターモード時のみ)

PPPoEパススルー機能	<input type="checkbox"/> 使用する
PPTPパススルー	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

項目	内容
PPPoEパススルー	PPPoEブリッジ機能を使用するかどうかを設定します。 PPPoEブリッジ機能を使用すると、PPPoEパケットがInternet - LAN間ですべて通過可能となり、LAN側に接続したパソコンでPPPoEプロトコルを使用してプロバイダーからIPアドレスを自動取得できるようになります。
PPTPパススルー	アドレス変換において、PPTPパススルー機能を使用するかどうかを設定します。 メモ: 「transix」、「v6プラス」、「IPv6オプション」、「OCNバーチャルコネク

ポート変換

ポート変換に関する設定を行う画面です。

メモ:

- ・「transix」、「クロスパス」、「v6 コネクト」をお使いの場合は、ポート変換できません。
- ・「v6プラス」、「IPv6オプション」、「OCNバーチャルコネクト」をお使いの場合、回線仕様により、ポート変換設定をしても通信が転送されないことがあります。

セキュリティ > ポート変換(ルーターモード時のみ)

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 ▾ 新規追加 <input style="width: 150px;" type="text"/>
Internet側IPアドレス	エアステーションのInternet側IPアドレス ▾ 手動設定: <input style="width: 100px;" type="text"/>
プロトコル	<input type="radio"/> 全て
	<input type="radio"/> ICMP
	<input type="radio"/> 任意 プロトコル番号: <input style="width: 80px;" type="text"/>
	<input checked="" type="radio"/> TCP/UDP 任意のTCPポート ▾ 任意のTCP/UDPポート: <input style="width: 150px;" type="text"/>
LAN側IPアドレス	<input style="width: 150px;" type="text" value="192.168.11.2"/>
LAN側ポート	TCP/UDPポート <input style="width: 150px;" type="text"/>

ポート変換登録情報

グループ	Internet側IPアドレス	プロトコル	操作
	LAN側IPアドレス	LAN側ポート	
アドレス変換設定は登録されていません			

項目	内容
利用可能ポート	インターネットへの接続方法によって利用できるポートが制限される場合、利用可能なポート番号が表示されます。
グループ	登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択して新規グループ名を入力すると、新たなグループを作成します。英数字で16文字までのグループ名を付けられます。
Internet側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のIPアドレスを設定します。
プロトコル	ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のプロトコルを設定します。
LAN側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のIPアドレスを設定します。
LAN側ポート	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のポート番号(1~65535)を設定します。
ポート変換登録情報	現在設定されているポート変換テーブルの有効/無効の指定を行います。

DMZ

LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

メモ:

- ・「transix」、「クロスパス」、「v6 コネクト」をお使いの場合は、DMZを設定しても動作しません。
- ・「v6プラス」、「IPv6オプション」、「OCNバーチャルコネクト」をお使いの場合、回線仕様により、DMZを設定しても通信が転送されないことがあります。

セキュリティ > DMZ(ルーターモード時のみ)

DMZのアドレス <input type="text"/>
※設定画面を表示している機器のIPアドレス[192.168.11.2]

項目	内容
DMZのアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先IPアドレスを設定します(RIPプロトコル(UDPポート番号520)のパケットは、転送されません)。

UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)の設定画面です。

セキュリティ > UPnP(ルーターモード時のみ)

UPnP <input checked="" type="checkbox"/> 使用する

項目	内容
UPnP	Universal Plug and Play(UPnP)機能を使用するかどうかを設定します。

システム設定

本製品のシステムに関する設定画面です。

管理 > システム設定

システム情報	
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX
管理ユーザー名	admin (変更することはできません)
管理パスワード	●●●●●● <input type="checkbox"/> パスワードを表示する
アクセス	
使用する	管理アクセス
<input type="checkbox"/>	無線LANからの設定を禁止する
<input type="checkbox"/>	有線LANからの設定を禁止する
パケット数	0
パケット数	0
Internet側リモートアクセス設定	
使用する	管理アクセス
<input type="checkbox"/>	Internet側リモートアクセス設定を許可する
時刻	
NTP機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
サーバー名	ntp.nict.jp
確認時間	24 時間毎
日付	2019 年 12 月 9 日
時刻	15 時 55 分 12 秒
タイムゾーン	(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル
現在の時刻を表示	現在アクセス中のパソコンから時刻を取得

項目	内容
エアステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。
管理ユーザー名	本製品の設定画面へログインするときのユーザー名です。「admin」以外に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインするときのパスワードです。半角英数字と「_」で、1～8文字で設定します。
無線LANからの設定を禁止する	本製品の無線ポートに接続された機器から本製品の設定をできないようにします。
有線LANからの設定を禁止する	本製品のLANポートに接続された機器から本製品の設定をできないようにします。
Internet側リモートアクセス設定を許可する	<p>Internetに接続されたネットワーク機器から本製品の設定画面へのアクセスを制限するかどうかを設定します。 アクセスを許可する場合は、許可IPアドレスと許可ポートを別途設定します。</p> <p>メモ: 「transix」、「v6プラス」、「IPv6オプション」、「OCNバーチャルコネクト」、「クロスパス」、「v6 コネクト」などのサービスをお使いの場合、Internet側リモートアクセスは使用できません。</p>

項目	内容
NTP機能	本製品の内部時計を、NTPサーバーを使って設定するかどうかを指定します。
サーバー名	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期(1~24時間ごと)を設定します。
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。
タイムゾーン	本製品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指定します。

ログ

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定画面です。

管理 > ログ

ログ

ログ情報転送機能	<input type="checkbox"/> 使用する														
syslogサーバー	<input style="width: 100%;" type="text"/>														
転送するログ情報	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> アドレス変換</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> PPPoEクライアント</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> AOSS</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無線</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 認証</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 設定変更</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> システム起動</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> システム</td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター	<input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール	<input checked="" type="checkbox"/> PPPoEクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー	<input checked="" type="checkbox"/> AOSS	<input checked="" type="checkbox"/> 無線	<input checked="" type="checkbox"/> 認証	<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動	<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク	<input checked="" type="checkbox"/> システム
<input checked="" type="checkbox"/> アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター														
<input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール	<input checked="" type="checkbox"/> PPPoEクライアント														
<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー														
<input checked="" type="checkbox"/> AOSS	<input checked="" type="checkbox"/> 無線														
<input checked="" type="checkbox"/> 認証	<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更														
<input checked="" type="checkbox"/> システム起動	<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント														
<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク	<input checked="" type="checkbox"/> システム														
<input type="button" value="全選択"/> <input type="button" value="全解除"/>															
[拡張設定]															
詳細なログ取得	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;"><input type="checkbox"/> アドレス変換</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;"><input type="checkbox"/> IPフィルター</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> ファイアウォール</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> アクセスフィルター</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> アドレス変換	<input type="checkbox"/> IPフィルター	<input type="checkbox"/> ファイアウォール	<input type="checkbox"/> アクセスフィルター										
<input type="checkbox"/> アドレス変換	<input type="checkbox"/> IPフィルター														
<input type="checkbox"/> ファイアウォール	<input type="checkbox"/> アクセスフィルター														

項目	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
詳細なログ取得	「アドレス変換」、「IPフィルター」、「ファイアウォール」、「アクセスフィルター」に関するログ情報を取得するかどうかを設定します。

設定管理/再起動

本製品の設定を保存・復元したり、本製品の初期化/再起動を行う画面です。

管理 > 設定管理/再起動

設定管理

操作	<input checked="" type="radio"/> 設定ファイルを保存する <input type="radio"/> 設定ファイルを復元する <input type="radio"/> 設定を初期化する
パスワード	<input type="checkbox"/> パスワードを使用する <input type="checkbox"/> パスワードを表示する

再起動

再起動	エアステーションを再起動します。 <input type="button" value="再起動"/>
-----	--

項目	内容
操作	<p>操作内容を選択します。</p> <p>設定ファイルを保存する 本製品の設定内容を設定ファイルに保存します。 [設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルをパスワードで暗号化する場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。 パスワードは、半角英数字と「_」で、1～8文字で設定します。</p> <p>設定ファイルを復元する 本製品の設定を、設定ファイルから復元します。 「設定ファイル」欄の[参照]をクリックして設定ファイルを指定し、[設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルがパスワードで暗号化されている場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。</p> <p>設定を初期化する 本製品の設定を初期化して、再起動します。 [設定操作実行]をクリックしてください。</p>
再起動	<p>クリックすると、本製品が再起動します。</p>

ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

管理 > ファームウェア更新

ファームウェアバージョン	WSR-1166DHPL2 Ver.X.XX(RX.XX/BX.XX)	
更新方法	<input checked="" type="radio"/> ローカルファイル指定 <input type="radio"/> オンラインバージョンアップ	
ファームウェアファイル名	<input type="text"/>	<input type="button" value="参照..."/>
<input type="button" value="更新実行"/>		
<p>※ファームウェアファイルは下のリンクから取得できます。</p> <p style="text-align: center;"><u>ファームウェアダウンロードサイト</u></p>		
[拡張設定]		
ファームウェア自動更新機能	<input type="text" value="重要な更新のみ行う"/>	
現在時刻	2019年 12月 9日 (月曜日) 15:55	<input type="button" value="現在の状態を表示"/>
更新時刻	毎日 <input type="text" value="04:00 - 04:59"/>	
<input type="button" value="設定"/>		

項目	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
更新方法	<p>ファームウェアの更新方法を設定します。</p> <p>ローカルファイル指定 パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行います。</p> <p>オンラインバージョンアップ インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルをダウンロードして更新を行います。</p>
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。

項目	内容
ファームウェア自動更新機能	<p>ファームウェアの自動更新方法を設定します。</p> <p>重要な更新のみ行う セキュリティーに関わる脆弱性の対応など、重要な更新があった場合、ファームウェアを自動的にダウンロードして本製品へ適用します。</p> <p>常に最新版に更新する 本製品の新しいファームウェアがリリースされると、自動的にダウンロードして本製品へ適用します。</p> <p>更新せずに通知のみ行う 新しいファームウェアがリリースされたときに、設定画面に通知します。本製品への適用は行いません。</p> <p>更新しない 新しいファームウェアがリリースされても、設定画面への通知や本製品へ適用は行いません。</p>
現在時刻	現在の時刻が表示されます。
更新時刻	自動更新を行う時間帯を設定します。

システム

本製品の現在の状態が表示されます。

ステータス > システム

製品名	WSR-1166DHPL2 Ver. X.XX(RX.XX/BX.XX)	
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX	
動作モード	ルーターモード	
Internet	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う - PPPoE接続
	接続先	Internet@Start (デフォルトの接続先)
	接続状態	通信中
	操作	<input type="button" value="停止"/>
	IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
	PPPサーバIP	XXX.XXX.XXX.XXX
	DNS1(プライマリー)	XXX.XXX.XXX.XXX (自動取得)
	DNS2(セカンダリー)	XXX.XXX.XXX.XXX (自動取得)
	MTU値	XXXX
	有線リンク	100Base-TX (全二重)
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX	
LAN	IPアドレス	192.168.11.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	DHCPサーバ	有効
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
IPv6	IPv6接続方法	インターネット@スタートを行う
	IPv6接続状態	NDプロキシ
	グローバルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
	プレフィックス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX/XX
	Internet側Link Localアドレス	XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX/XX
	IPv6デフォルトゲートウェイ	XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
	DNS1(プライマリー)	XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX (自動取得)
	DNS2(セカンダリー)	XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX (自動取得)
	LAN側Link Localアドレス	XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX/XX
	サブネットID	XXXX
インターフェースID	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX	
アドレス配布方法	ステータスアドレス自動設定で配布	
アドレス配布状態	配布中	
無線(2.4 GHz)	無線状態	制限なし
	SSID1	Buffalo-G-XXXX
	認証方式	WPA2-PSK
	暗号化	AES
	ANY接続	許可する
	プライバシーセパレーター	使用しない
	無線チャンネル	6(自動設定)
倍速モード	20 MHz	
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX	
無線(5 GHz)	無線状態	制限なし
	SSID1	Buffalo-A-XXXX
	認証方式	WPA2-PSK
	暗号化	AES
	ANY接続	許可する
	プライバシーセパレーター	使用しない
	無線チャンネル	116(自動設定)
倍速モード	80 MHz	
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX	
<input type="button" value="現在の状態を表示"/>		

項目	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
エアステーション名	エアステーション名が表示されます。
動作モード	現在の動作モードが表示されます。
Internet	Internetポートの情報が表示されます。
LAN	LANポートの情報が表示されます。

項目	内容
IPv6	IPv6接続に関する情報が表示されます。
無線(2.4GHz)	2.4GHz帯の無線LANポートの情報が表示されます。
無線(5GHz)	5GHz帯の無線LANポートの情報が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

ステータス > ログ

表示するログ情報	<input checked="" type="checkbox"/> アドレス変換	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター
	<input checked="" type="checkbox"/> ファイアウォール	<input checked="" type="checkbox"/> PPPoEクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー
	<input checked="" type="checkbox"/> AOSS	<input checked="" type="checkbox"/> 無線
	<input checked="" type="checkbox"/> 認証	<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更
	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動	<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク	<input checked="" type="checkbox"/> システム
	表示 <input type="button" value="すべてチェックする"/> <input type="button" value="すべてチェックを外す"/>	
	ログ	
	<input type="button" value="ファイル(logfile.log)に保存する"/> <input type="button" value="消去"/>	
日付時刻	種類	ログ内容
2019/12/09 15:42:03	DHCPS	Sending ACK to 192.168.11.3
2019/12/09 15:42:03	DHCPS	Received REQUEST...

項目	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

ステータス > 通信パケット

インターフェース	送信パケット数		受信パケット数	
	正常	エラー	正常	エラー
Internet側有線	653	0	799	0
PPPoE No.1: Internet@Start	653	0	799	0
LAN側有線	51810	0	46952	0
LAN側無線(2.4GHz)	0	0	0	0
LAN側無線(5GHz)	1743	0	310	0

現在の状態を表示

項目	内容
送信パケット数	LAN側有線、Internet側有線、LAN側無線、PPPoEに送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	LAN側有線、Internet側有線、LAN側無線、PPPoEから受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上のほかの機器との接続確認を行う画面です。

ステータス > 診断

送信プロトコル	<input checked="" type="radio"/> IPv4 <input type="radio"/> IPv6
宛先アドレス	<input type="text"/>
<input type="button" value="実行"/>	
実行結果	
宛先	192.168.11.2
実行結果	64 bytes from 192.168.11.2: icmp_seq=0 ttl=128 time=0.718 ms 64 bytes from 192.168.11.2: icmp_seq=1 ttl=128 time=0.565 ms 64 bytes from 192.168.11.2: icmp_seq=2 ttl=128 time=0.474 ms 64 bytes from 192.168.11.2: icmp_seq=3 ttl=128 time=0.487 ms

項目	内容
送信プロトコル	Pingテストを行うプロトコルを選択します。
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレス、またはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

第5章 困ったときは

IPv4 over IPv6通信サービスを契約しても、インターネット接続方式が切り替わらない

原因1 IPv4 over IPv6通信サービスへ切り替わるまでに時間がかかっている

申し込み後、サービスが切り替わるまでに時間がかかる場合があります。

切り替え状況については、プロバイダーにご確認ください。

原因2 本製品にPPPoE接続設定が残っている

本製品にPPPoE接続設定が残っている場合、新しいサービス(IPv4 over IPv6通信サービス)を検出する前に、今までのサービス(PPPoE)でつながる場合があります。

以下の手順で、PPPoE接続設定をOFFにしてください。

1 本製品の設定画面を表示します。

メモ: 設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.14\)](#)を参照してください。

2 [詳細設定] - [Internet] - [Internet]をクリックします。

3 IPアドレス取得方法の設定を確認します。

「インターネット@スタートを行う」設定の場合は、手順4以降を行ってください。

IPアドレス取得方法

- インターネット@スタートを行う
 - インターネット回線の変更時に自動で切り替える
- DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得
- PPPoEクライアント機能を使用する
- transixを使用する
- v6プラスを使用する
- IPv6オプションを使用する
- OCNバーチャルコネクトを使用する
- クロスパスを使用する
- v6 コネクトを使用する
- その他のDS-Liteを使用する

ゲートアドレス

手動設定

IPアドレス

サブネットマスク

※PPPoE接続先の設定はInternet設定 - PPPoE設定で行ってください。

メモ: 「インターネット@スタートを行う」以外の場合は、以下の手順4以降は不要です。サービスが切り替わるまでに時間がかかっていることが考えられるため、切り替え状況をプロバイダーにご確認ください。

4 [詳細設定] - [Internet] - [PPPoE]をクリックします。

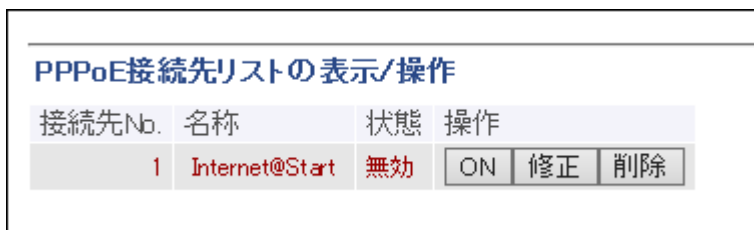
5 PPPoE接続リストの[接続先の編集]をクリックします。



6 PPPoE接続先リストの表示/操作で、操作欄にある[OFF]をクリックします。



7 手順6でOFFにした設定の状態が「無効」になったことを確認します。



以上で完了です。

インターネットにつながらない

原因1 動作モードの設定が間違っている

動作モードの設定が間違っていることが考えられます。背面のスイッチを「ROUTER」に設定してください。

原因2 プロバイダーから提供された機器の電源が入っていない

プロバイダーから提供された機器と本製品がLANケーブルで正しく接続されているにもかかわらずインターネットに接続できない場合は、電源が入っているか確認してください。

原因3 インターネットに接続しようとする機器が本製品に接続されていない

AirStationアプリやエアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする機器と本製品をLANケーブルまたは無線で接続してください。

メモ: 無線での接続方法は、本書の第2章を参照してください。

原因4 インターネットの設定が間違っている

製品添付の取扱説明書を参照して、インターネットの設定をやり直してください。

無線接続が切れる/不安定

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。本製品の電源を入れ直してください。

原因2 本製品と無線機器の距離が遠い

本製品と無線機器の距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。無線機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しをよくしてください。

原因3 本製品周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になる場合があります。

それらの機器を本製品から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品から遠ざけることができない場合は、本製品の無線チャンネルを変更してください。2.4GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。

原因4 本製品のファームウェアが古い

上記1~3の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、本製品のファームウェアを最新版に更新してください。

原因5 無線機器のドライバーが古い

上記1~4の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、無線機器のドライバー(ソフトウェア)を最新版に更新してください。

無線でつながらない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。本製品の電源を入れ直してください。

原因2 本製品と無線機器の距離が遠い

本製品と無線機器の距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。無線機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しをよくしてください。

原因3 セキュリティソフトが動作している

無線機器にウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合、無線接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティソフトを終了して、無線接続設定を完了させてからセキュリティソフトを起動してください。

原因4 無線接続の設定が間違っている

無線接続の設定が間違っていると、本製品に無線で接続できません。本書の第2章を参照して、接続してください。

原因5 本製品にANY接続拒否やMACアクセス制限の設定がされている

本製品にANY接続拒否の設定がされていると、無線機器から検索しても本製品が表示されません。その場合は、ANY接続拒否を解除してから接続してください。

本製品にMACアクセス制限の設定がされていると、そのままでは本製品に無線接続できません。無線機器のMACアドレスを本製品に登録してから無線接続してください。

設定画面が表示できない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。本製品の電源を入れ直してください。

原因2 設定用機器が本製品に接続されていない

AirStationアプリやエアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする機器と本製品をLANケーブルまたは無線で接続してください。

メモ: 無線での接続方法は、本書の第2章を参照してください。

無線での通信が遅い

原因1 本製品周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になり、通信速度が低下する場合があります。

それらの機器を本製品から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品から遠ざけることができない場合は、本製品の無線チャンネルを変更してください。2.4GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかに設定することをおすすめします。

原因2 2.4GHzの帯域が「144.4Mbps(20MHz)」になっている

本製品の2.4GHz(11n/g/b)の帯域は、出荷時の状態で「144.4Mbps(20MHz)」に設定されています。「300Mbps(40MHz)」に設定することで、無線での通信速度が速くなる場合があります。

メモ:

- 本製品の設定だけでなく、お使いの機器の設定も必要になる場合があります。
- 2.4GHz帯を使用する機器が周囲に多くあり、電波環境が悪い場合は、設定を変更しても通信速度が向上しないことがあります。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、背面のRESETボタンを前面のPOWERランプが緑色に点滅するまで(約3秒間)押し続けてください。その後、本製品が再起動したら設定の初期化は完了です。

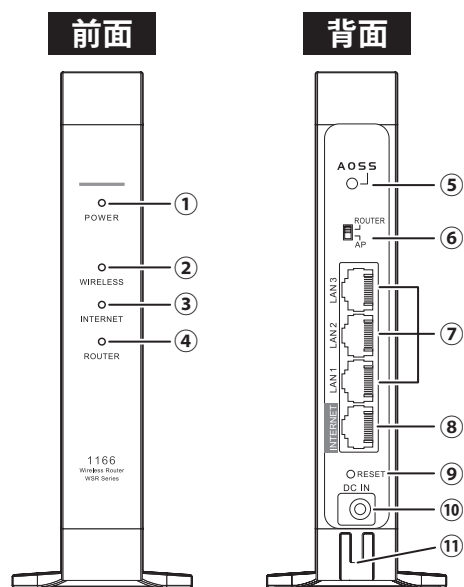
第6章 付録

製品仕様

無線LANインターフェース	
準拠規格(最大転送速度)	IEEE 802.11ac(866Mbps) IEEE 802.11n(300Mbps) IEEE 802.11g(54Mbps) IEEE 802.11a(54Mbps) IEEE 802.11b(11Mbps) 表示の数値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
周波数範囲(中心周波数)	IEEE 802.11ac/IEEE 802.11a: W52 36/40/44/48ch(5180~5240MHz) W53 52/56/60/64ch(5260~5320MHz) W56 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140/144ch (5500~5720MHz) IEEE 802.11g/IEEE 802.11b: 1~13ch(2412~2472MHz) 本製品と同一の周波数帯を使用する機器がある場合、電波干渉により通信速度が遅くなるなどの障害が発生する可能性があります。
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
セキュリティー	WPA2-PSK(AES)、WPA-PSK(AES)、WPA/WPA2 mixed PSK(TKIP/AES mixed)、WEP(128ビット/64ビット)、プライバシーセパレーター、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3 ab(1000BASE-T)/IEEE 802.3u(100BASE-TX)/ IEEE 802.3(10BASE-T)
データ転送速度	1000/100/10Mbps(自動認識) 表示の数値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。
データ伝送モード	半二重/全二重(自動認識)
伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5(1000BASE-T)/4B5B/MLT-3(100BASE-TX)/マンチェスターコーディング(10BASE-T)
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
端子	1000 BASE-T/100 BASE-TX/10 BASE-T 兼用端子(AUTO-MDIX)
その他	
電源	AC 100 50/60Hz

消費電力	9.1W(最大)
外形寸法	55(W) × 159(H) × 130(D)mm(本体のみ)
質量	241g(本体のみ)
動作環境	0～40°C、10～85%(結露しないこと) 本製品は屋内使用に限ります。

各部の仕様



1 POWERランプ

- 点灯(緑): 電源がONの状態、通常状態
- 点滅(緑): システムが起動中
- 点滅(緑と橙の繰り返し): ファームウェア更新中
- 消灯: 電源がOFFの状態
- 点滅(橙): エラー発生時

※エラー発生時は、本製品の電源を入れ直してください。再びランプが同じように橙色に点滅している場合や、すべてのランプが橙色に点灯している場合は、当社サポートセンターにお問い合わせください(別紙「はじめにお読みください」に記載のお問い合わせ先を参照してください)。

2 WIRELESSランプ

- 点灯(緑): 無線LAN動作時/無線LAN通信時
- 2回点滅(緑): AOSS/WPS待ち受け状態
- 連続点滅(緑): AOSS/WPS失敗
- 消灯: 無線LAN無効時

3 INTERNETランプ

インターネットに接続可能なときに緑色に点灯しますが、お使いの環境により消灯する場合もあります。消灯していてもインターネットに接続できるときは、異常ではありませんので、そのままお使いください。

4 ROUTERランプ

ROUTERモードで動作しているときに緑色に点灯します。
APモードで動作しているときは、消灯します。

5 AOSSボタン

本製品の電源を入れた状態で、WIRELESSランプが点滅するまで(約1秒間)ボタンを押すと、本製品がAOSS/WPS待ち受け状態になります。

約10秒間押し続けると、無線引越し設定の待ち受け状態になります。

6 ROUTER/APスイッチ

本製品の動作モード(ROUTER/AP)を切り替えます。

7 LAN端子

パソコンやハブなどを接続します。1000/100/10Mbpsに対応しています。

8 INTERNET端子

プロバイダーから提供された機器(光回線終端装置やモデムなど)を接続します。1000/100/10Mbpsに対応しています。

9 RESETボタン

本製品の電源を入れた状態で、POWERランプが緑色に点滅するまで(約3秒間)ボタンを押し続けると、本製品が出荷時設定に戻ります。

10 DC端子

付属のACアダプターを接続します。

11 ACアダプター用フック

ACアダプターのケーブルが抜けないように、ケーブルを引っ掛けます。

初期設定一覧

機能	項目	出荷時設定
Internet	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
	デフォルトゲートウェイ	－
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	－
	Internet側MACアドレス	デフォルトのMACアドレスを使用
	Internet側MTU値	1500バイト
PPPoE	デフォルトの接続先	未設定
	PPPoE接続先リスト	未設定
	接続先経路の表示	未設定
アドレス変換	アドレス変換	使用する
	拡張設定	表示しない
	TCPタイムアウト時間	2500秒
IPv6	IPv6接続方法	インターネット@スタートを行う
LAN	LAN側IPアドレス	IPアドレス: 192.168.11.1 サブネットマスク: 255.255.255.0
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.11.2から64台
	拡張設定	表示しない
	リース期間	48時間
	デフォルトゲートウェイの通知	エアステーションのLAN側IPアドレス
	DNSサーバーの通知	エアステーションのLAN側IPアドレス
	WINSサーバーの通知	通知しない
	ドメイン名の通知	取得済みのドメイン名
DHCPリース	リース情報	未設定
経路情報	経路情報	－

機能	項目	出荷時設定
2.4GHz(11n/g/b) 5GHz(11 ac/n/a)	基本設定	
	無線機能	使用する
	無線チャンネル	自動
	倍速モード	2.4GHz: 144Mbps(20MHz)、拡張チャンネルは自動設定 5GHz: 866Mbps(80MHz)
	ANY接続	許可する
	SSID 1	
	SSID 1	使用する
	隔離機能	使用しない
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA2-PSK
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK(事前共有キー)	製品付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	0分
	SSID 2	
	SSID 2	使用しない
	隔離機能	使用しない
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	WEP暗号化キー設定	未設定
	拡張設定	
	BSS BasicRateSet	2.4GHz: 1, 2, 5.5, 11Mbps 5GHz: 6, 12, 24Mbps
	Multicast Rate	2.4GHz: 1Mbps 5GHz: 6Mbps
	802.11nプロテクション	使用しない
	DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	使用しない	
送信出力	100%	
MU-MIMO(5GHzのみ)	使用する	
WPS	WPS機能	使用する
	外部Registrar	使用する
	エアステーションのPINコード	製品固有の8桁のPINコードが設定済み
	EnrolleeのPINコード	空欄
	WPS用無線セキュリティー設定	WPSステータス: Configured セキュリティー: WPA2-PSK AES SSID/暗号鍵: 製品付属のセットアップカードに記載の値

機能	項目	出荷時設定
AOSS	AOSS状態	AOSS 無効
	WEPをゲーム専用にする	使用しない
	本体側AOSSボタン	使用する
MACアクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない
	登録リスト	未登録
マルチキャスト制御	Snooping機能	使用する
	マルチキャストAging Time	300秒
無線引っ越し機能	無線引っ越し状態	未実施
ファイアウォール	ファイアウォール設定-IPv4	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する 無効 IDENTの要求を拒否する 有効 Internet側からのPINGに 응답しない 有効
	ファイアウォール設定-IPv6	Microsoft-DS/SMB2.0のルーティングを禁止する 有効 IDENTの要求を拒否する 有効 Internet側からのPINGに 응답しない 無効 Internet側からの接続要求を転送しない 有効
IPフィルター	IPフィルター登録情報	未設定
IPv6フィルター	IPv6フィルター登録情報	未設定
パススルー	PPPoEパススルー機能	使用しない
	PPTPパススルー	使用する
ポート変換	ポート変換登録情報	未設定
DMZ	DMZのアドレス	未設定
UPnP	UPnP	使用する
システム設定	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	管理ユーザー名	admin(変更することはできません)
	管理パスワード	製品付属のセットアップカードに記載の値
	制限項目	無線LANからの設定を禁止する 無効 有線LANからの設定を禁止する 無効 Internet側リモートアクセス設定を許可する 無効
	NTP機能	使用する
	サーバー名	ntp.nict.jp
	確認時間	24時間ごと
	タイムゾーン	(GMT + 09:00)東京、大阪、ソウル
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	Syslogサーバー	未設定
	転送するログ情報	アドレス変換、IPフィルター、ファイアウォール、PPPoEクライアント、DHCPクライアント、DHCPサーバー、AOSS、無線、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク、システム
	詳細なログ取得	取得しない

機能	項目	出荷時設定
ファームウェア更新	更新方法	ローカルファイル指定
	ファームウェアファイル名	空欄
	ファームウェア自動更新機能	重要な更新のみ行う
	更新時刻	毎日04:00~04:59

本書について

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

免責事項

- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計・製造されています。日本国外での使用における故障・不具合についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に契約の不適合があった場合、無償にて当該契約不適合を修補し、または契約不適合のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該契約不適合に基づく損害賠償の責に任じません。
- 本書に記載された責任は、日本国内においてのみ有効です。

商標・登録商標

AirStation™、AOSS™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では一部を除き、™、®、©などのマークは記載していません。